

令和5年度

教育要覧

岩 沼

岩沼市教育委員会

目 次

I 概況

1. 岩沼市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II 教育行政

1. 岩沼市教育基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 教育等の振興に関する施策の大綱・・・・・・・・ 3
3. 岩沼市教育重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
4. 教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5. 歴代教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6. 教育のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7. 教育委員会組織機構・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
8. 教育委員会職員の状況・・・・・・・・・・・・ 12
9. 東日本大震災について・・・・・・・・・・・・ 13
10. 教育財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

III 学校教育

1. 学校施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. 児童・生徒数の推移・・・・・・・・・・・・ 17
3. 学校別児童・生徒数・・・・・・・・・・・・ 18
4. 私立幼稚園児数・・・・・・・・・・・・ 18
5. 児童・生徒の体位状況・・・・・・・・・・・・ 19
6. 学校紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
7. 学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

IV 生涯学習

1. 社会教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
2. 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・ 34
3. 社会体育事業・・・・・・・・・・・・ 36
- 3-2. 社会体育施設一覧・・・・・・・・・・・・ 37

V 社会教育機関

1. 市民会館・中央公民館・・・・・・・・・・・・ 40
2. 市民図書館・・・・・・・・・・・・ 46
3. 社会教育施設等一覧・・・・・・・・・・・・ 48

VI 各種委員会委員等名簿・・・・・・・・・・・・ 49

市章



この市章は、「岩沼」の“岩”の字を上部に“山”、下部に“石”を図案化し、上開きにより飛躍発展途上の岩沼市を象徴したものです。

(昭和35年12月18日制定)

岩沼市民憲章

阿武隈の流れに沿い、歴史と伝統にはぐくまれた緑の田園工業都市、岩沼市。わたくしたちは岩沼市に居住し、ここを郷土とすることに誇りをもっております。

わたくしたちの、この岩沼市が文化の香りも高く、健康で、活力に満ちた郷土として発展することを願い、この憲章を定めます。

- 1、郷土の自然を愛し、緑豊かなまちをつくりましょう。
- 1、互いに助け合い、あたたかい心で交わるまちをつくりましょう。
- 1、きまりを正しく守り、明るい風習を育てるまちをつくりましょう。
- 1、からだをきたえ、勤労を喜ぶまちをつくりましょう。
- 1、伝統に学び、教養を身につけ、教育と文化を尊ぶまちをつくりましょう。

(昭和56年11月1日制定)



市花 ツツジ



市木 黒松

I 概況

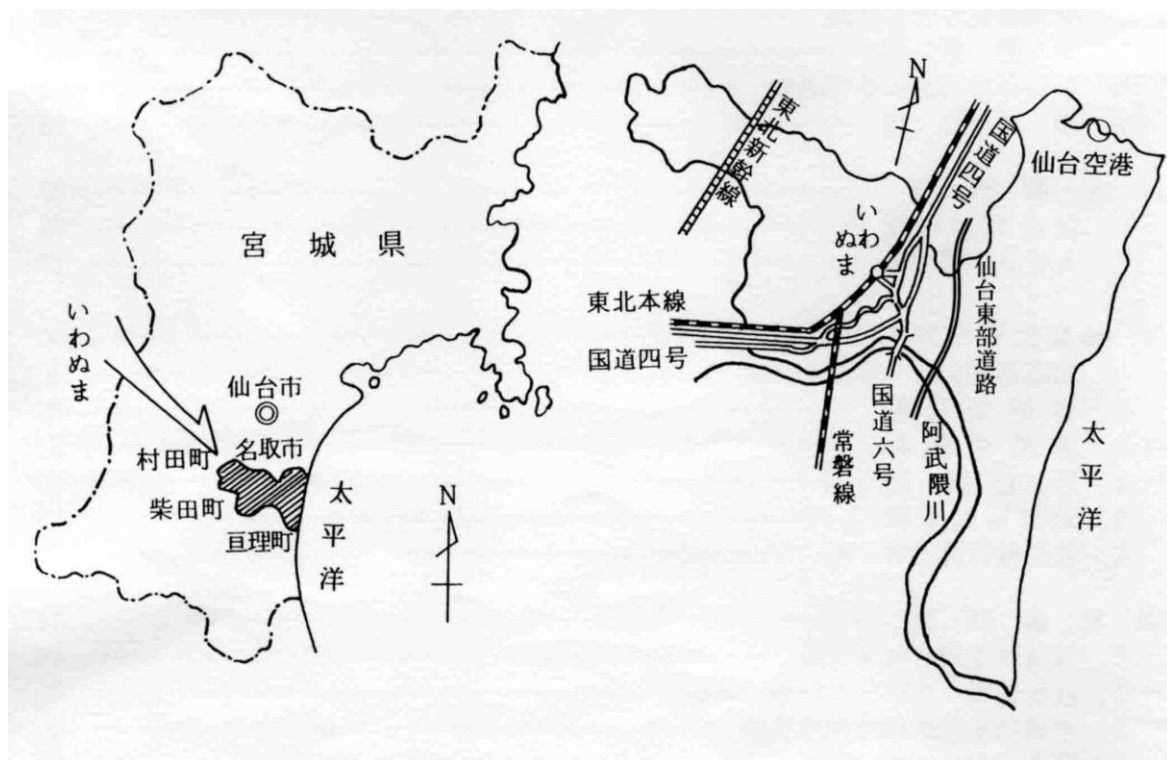
1. 岩沼市の概要

岩沼市は、宮城県南部に位置し、仙台市の南 17.6 km、東経 140 度 52 分、北緯 38 度 6 分にあり、東西約 13 km、南北約 10 km、総面積 60.45 km²で、東は太平洋、南は阿武隈川と接しており、山、川、平野、海の豊かな四季を生む自然と、過ごしやすく穏やかな気候に恵まれた環境にあります。また、JR 東北本線と JR 常磐線の合流点、国道 4 号と 6 号の合流点にあたり、仙台空港が所在するなど交通の要衝でもあります。

本市は、古くから奥州街道の宿場町、竹駒神社の門前町として栄えてきました。明治 22 年 4 月、市町村制の施行に伴って岩沼郷は「岩沼町」、東部 4 か村は「玉浦村」、西部 6 か村は「千貫村」となり、それぞれ町村の運営を行ってきましたが、昭和 30 年 4 月 1 日、この 3 か町村が合併し、「岩沼町」として発足しました。

その後、昭和 39 年の新産業都市指定などを契機に大小企業の進出が盛んになり、農業・商業を主とする町の経済基盤は、パルプ・ゴム・鉄工などを主体とした工業都市の性格も加わり、都市化の急激な進展をみて、昭和 46 年 11 月 1 日市制を施行し「岩沼市」が誕生しました。令和 3 年 11 月 1 日には、市制施行 50 周年を迎えました。

本市では、平成 26 年度から令和 5 年度までを計画期間とする「いわぬま未来構想」で実現すべき将来都市像を「i があふれる“健幸”先進都市いわぬま」と決めました。東日本大震災からの復旧・復興をはじめ、少子高齢化や地球環境問題など、これからが経験したことのない環境であることを想定し、その時々状況に応じ、迅速かつ柔軟な対応が可能となるよう、自助・共助・公助と協働・連携を更に推進することにより、市域全体の均衡ある発展を目指したまちづくりを進めていくこととしています。



2. 人口の推移

○人口及び世帯数の推移

(昭和35年～平成22年 各年10月1日現在) (平成23年～令和4年 各年12月31日現在)

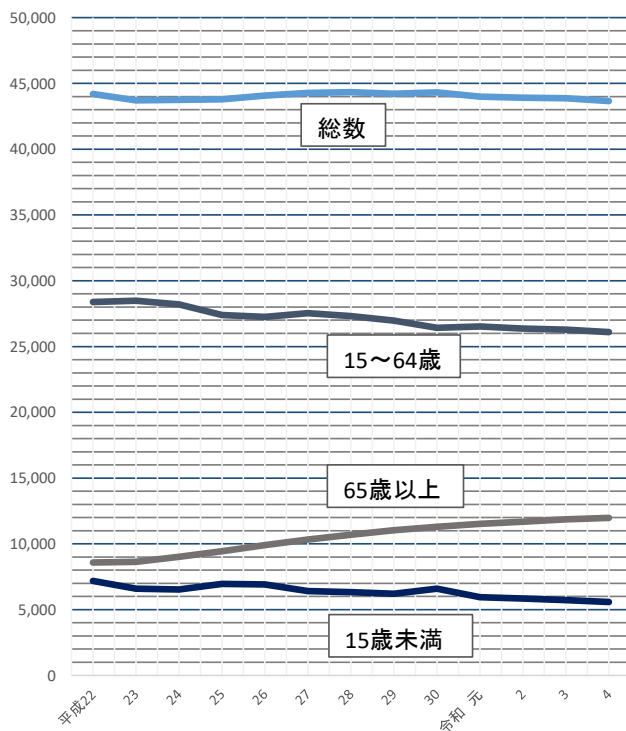
年	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1 km ² 当 たり人口	面積 km ²	備 考
		総数	男	女				
昭和35	4,811	26,452	12,912	13,540	5.5	446.8	59.2	国勢調査
45	6,739	29,822	14,784	15,038	4.43	503.8	〃	〃
55	9,142	34,910	17,357	17,553	3.82	588.6	59.31	〃
平成 2	10,399	38,091	18,759	19,332	3.66	627.4	60.71	〃
12	13,135	41,407	20,390	21,017	3.15	681.9	60.72	〃
22	15,519	44,187	21,700	22,487	2.85	727.8	60.71	〃
23	16,121	43,710	21,474	22,236	2.71	720.0	〃	いわぬまミニ統計
24	16,315	43,750	21,511	22,239	2.68	720.6	〃	〃
25	16,503	43,788	21,544	22,244	2.65	721.3	〃	〃
26	16,893	44,071	21,724	22,347	2.61	729.0	60.45	〃
27	17,177	44,274	21,892	22,382	2.58	732.4	〃	〃
28	17,315	44,332	21,893	22,439	2.56	733.4	〃	〃
29	17,496	44,221	21,783	22,438	2.52	731.5	〃	〃
30	17,786	44,308	21,845	22,463	2.49	733.0	〃	〃
令和 元	17,936	43,995	21,714	22,281	2.45	727.8	〃	〃
2	18,232	43,917	21,655	22,262	2.41	726.5	〃	〃
3	18,459	43,878	21,669	22,209	2.38	725.9	〃	〃
4	18,670	43,656	21,602	22,054	2.34	722.2	〃	〃

○年代別人口の推移

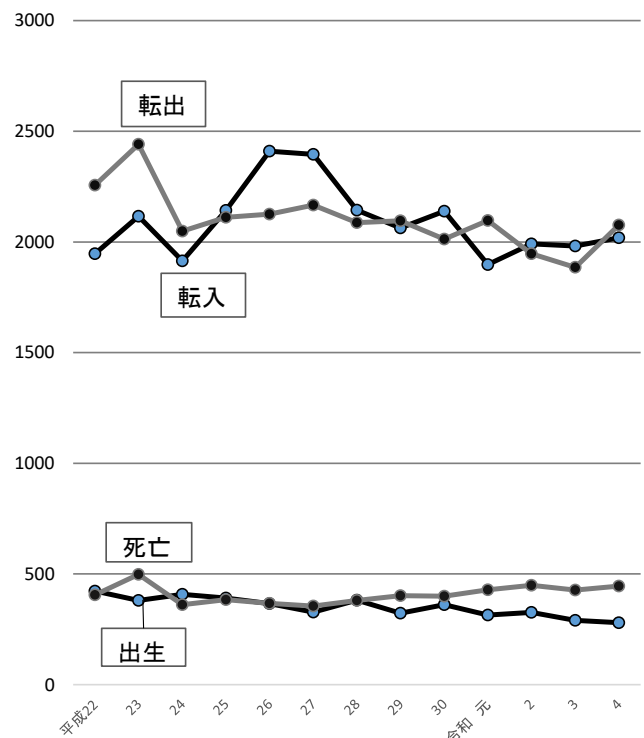
(平成22年～令和4年 各年12月31日現在)

	総数	年齢階層別			自然動態		社会動態		自然動態 +社会動態
		15歳未満	15~64歳	65歳以上	出生	死亡	転入	転出	
平成22	44,187	7,184	28,385	8,584	423	406	1,947	2,256	△292
23	43,710	6,596	28,481	8,633	380	498	2,116	2,441	△443
24	43,750	6,543	28,197	9,010	408	361	1,914	2,049	△88
25	43,788	6,953	27,399	9,436	391	384	2,142	2,111	38
26	44,071	6,911	27,257	9,903	366	367	2,410	2,126	283
27	44,274	6,410	27,531	10,333	328	355	2,396	2,166	203
28	44,332	6,338	27,308	10,686	382	380	2,143	2,087	58
29	44,221	6,203	26,978	11,040	323	402	2,063	2,095	△111
30	44,308	6,591	26,421	11,296	361	400	2,139	2,013	87
令和 元	43,995	5,943	26,528	11,524	314	428	1,898	2,097	△313
2	43,917	5,856	26,370	11,691	327	449	1,991	1,947	△78
3	43,878	5,732	26,277	11,869	291	427	1,982	1,885	△39
4	43,656	5,583	26,097	11,976	280	445	2,019	2,076	△222

年代別人口の推移



人口動態



II 教育行政

1. 岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

2. 教育等の振興に関する施策の大綱〔対象期間 4年（令和5年度～令和8年度）〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に定める岩沼市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、次のように定め、今後、市の各種計画との整合を図りながら、その実現に向け市全体で取り組んでいくものとする。

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、様々な環境の変化に対応できる強くしなやかな人間の形成と、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな市民による明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」、「学びと潤いにみちた地域社会の実現」、「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

○たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、強さやしなやかさ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい主体的に学習に取り組めるよう、「夢をはぐくみ、愛のある教育」の一層の充実に努める。

○学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もがいつでも学ぶことができる環境を整え、生涯にわたる学習や交流の場等の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、学校・家庭・地域の連携を図り、社会全体で子どもたちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

○かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造を図るとともに、先人の貴重な遺産である文化財の保護と活用に努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や交流の場等の提供に努める。

3. 令和5年度 岩沼市教育重点目標 - 生涯学習社会の確立をめざして -

市民一人ひとりが、幼児期から生涯にわたる学習をとおして、自己啓発や生活の向上を図り、いきいきとした健康的な生活の増進、豊かな創造性の醸成、快適な生活環境の確立、地域文化の創造を目的とした生涯学習社会の実現をめざし、総合的・体系的な基盤の整備を図る。

また、新型コロナウイルス感染症対策や自然災害等に対する危機管理及び防災教育を充実させ、希望ある未来につながるように努める。

I たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい学習に取り組めるよう、「夢をはぐくみ、愛のある教育」の一層の充実に努める。

また、ICT教育を推進し、情報活用能力を身につけ、自ら考え行動する創造的な人材育成に努める。

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
- ④ 理科教育の充実
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
- ③ ユニーク先生活用事業の充実
- ④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
- ② 国際理解教育の推進
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
- ② 若手教員の学びの場の提供
- ③ ICT等教育機器の研修の充実及び専門支援員の活用
- ④ 職能に応じた研修会の開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

- (1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道徳教育の推進
- (2) いじめ防止対策の推進
- (3) 一人ひとりを大切にした生徒指導及び心のケアの充実
- (4) 安全指導の充実及び防災教育の推進
- (5) 生活習慣の改善及び食育の推進
- (6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進
- (7) 相互理解を図る教育の推進
(コミュニケーション能力の育成、協働で取り組む活動の充実)

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

- (1) 「共に学ぶ」特別支援教育の推進
- (2) 指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進
- (3) 一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
- (4) 発達障害に関する知識と対応の充実

4 魅力ある教育環境づくり

- (1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進
- (2) 児童生徒一人ひとりに対応できる ICT 教育環境整備の推進
- (3) 外国語指導助手 (ALT) 活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進
- (4) 指導助手、特別支援教育支援員配置の推進
- (5) 教員が子どもと向き合う時間の確保 (働き方改革)
- (6) 教育相談体制の充実
(不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実)
- (7) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進
- (8) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進
- (9) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実
(保護者と共に不登校児童生徒の学校復帰を目指すともに社会的自立を支援)
- (10) 家庭における学校教育への理解促進

Ⅱ 学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もが生涯にわたり学習し、交流できる環境の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、学校・家庭・地域の連携を図り、社会全体で子どもたちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 生涯にわたる学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の有効活用
- 7 読書活動の推進

Ⅲ かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造する力を養うとともに、先人からの貴重な遺産である文化財の保護と活用に努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や、交流の場等の提供に努める。

- 1 芸術文化活動の推進
 - (1) 芸術文化鑑賞機会の充実
 - (2) 参加し、創造する地域文化活動の充実
 - (3) 部活動支援事業の充実
- 2 文化財の保護と活用の推進
 - (1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備
 - (2) 文化財や歴史資料の保存・活用
 - (3) 民俗芸能の保護・育成
 - (4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進
 - (5) 原遺跡発掘調査の推進
- 3 スポーツ振興の充実
- 4 スポーツ団体活動の支援
- 5 部活動支援事業の充実
- 6 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 7 市内開催の全国的、全県的大会の支援

4. 教育委員



(教育長) 及川浩市



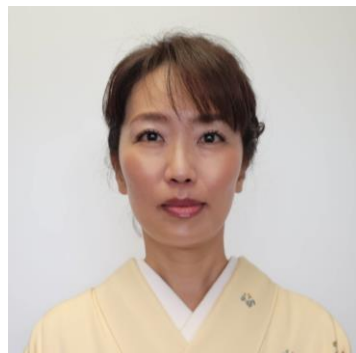
(職務代理者) 佐藤雅晴
〔平成29年10月1日職務代理者就任〕



小林修子



南館公雄



木村紀子

5. 歴代教育委員

① 教育委員（教育長以外）

氏名	就任年月日	退任年月日
鎌田喜善	昭和31年10月1日	昭和32年9月30日
中畑すみ	昭和31年10月1日	昭和54年9月30日
板橋英太郎	昭和31年10月1日	昭和34年4月2日
松岡賛三	昭和31年10月1日	昭和35年9月30日
渡辺信一	昭和32年10月1日	昭和33年10月3日
白幡恒雄	昭和34年10月6日	昭和37年2月17日
渡辺鮮三	昭和34年5月11日	昭和37年10月4日
桜井清一郎	昭和35年10月1日	昭和47年9月30日
森喜吉	昭和37年2月18日	昭和38年3月31日
関谷藤助	昭和37年10月5日	昭和47年9月30日
高橋比呂志	昭和38年10月4日	昭和61年10月3日
猪股琢磨	昭和47年10月9日	昭和50年3月19日
田村昌	昭和47年10月9日	昭和59年10月8日

氏 名	就任年月日	退任年月日
佐 藤 武	昭和50年 3月 22日	昭和59年10月 8日
高 橋 キイ子	昭和54年10月 4日	昭和62年10月 3日
佐 藤 敏 男	昭和59年10月 9日	平成 4年10月 8日
安 田 莊十郎	昭和59年10月 9日	平成 4年 3月 31日
小 川 義 則	昭和61年10月 4日	平成 2年10月 3日
曾 我 登美子	昭和62年10月 4日	平成 3年10月 3日
高 橋 美由紀	平成 2年10月 4日	平成26年10月 3日
小 野 秀 夫	平成 3年10月 4日	平成 7年10月 3日
砂 金 勲	平成 4年 4月 1日	平成 8年10月 8日
佐 藤 雅 晴	平成 4年10月 9日	
芳 賀 盛	平成 7年10月 4日	平成11年10月 3日
曾 我 庸 子	平成 8年10月 9日	平成24年10月 8日
木 下 勢 子	平成11年10月 4日	平成19年10月 3日
藤 川 チユキ	平成19年10月 4日	令和元年10月 3日
小 林 修 子	平成24年10月 9日	
南 舘 公 雄	平成26年11月 1日	
氏 家 真由美	令和元年10月 4日	令和 5年10月 3日
木 村 紀 子	令和 5年10月 4日	

② 教育長

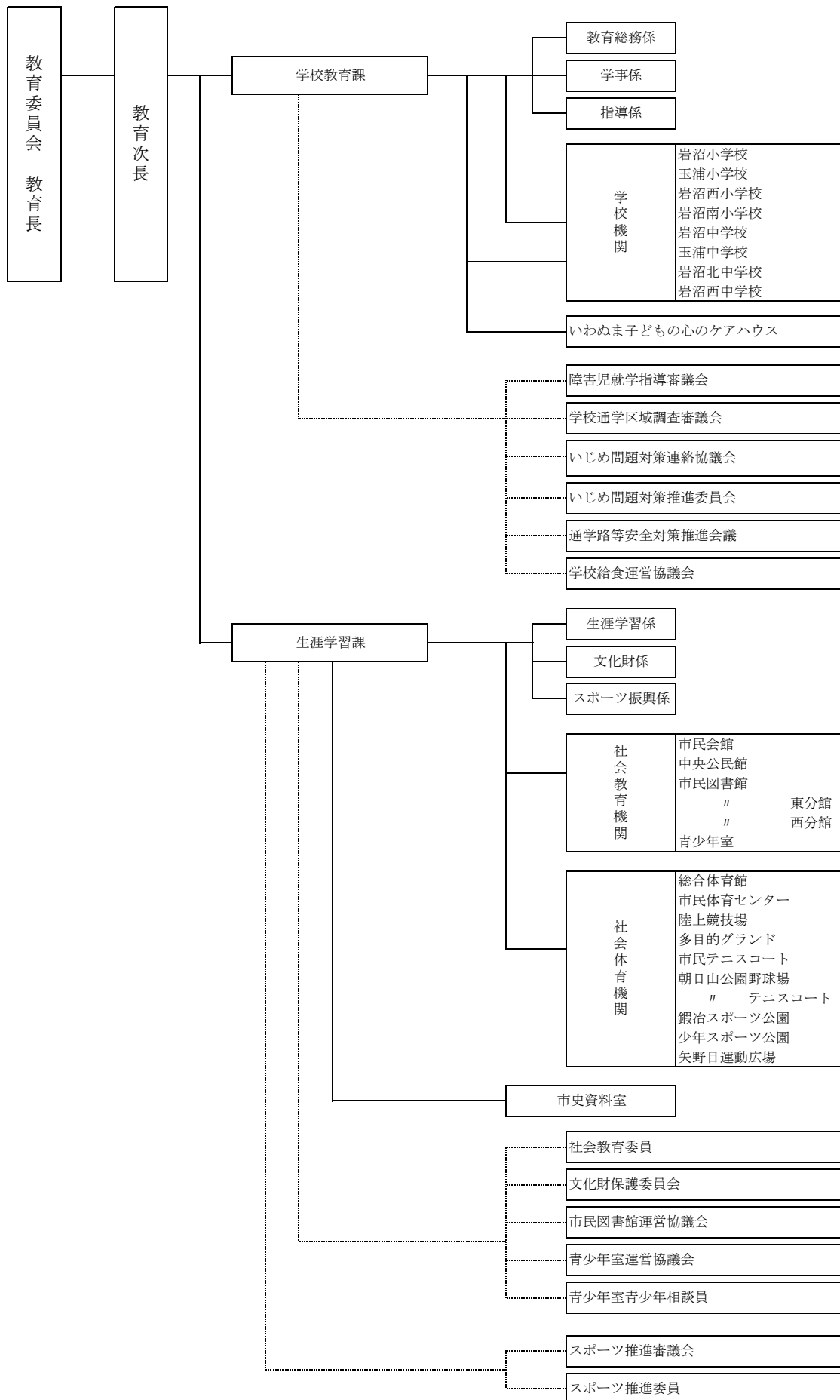
氏 名	就任年月日	退任年月日
服 部 善 吉	昭和31年10月 1日	昭和33年 9月 30日
渡 辺 信 一	昭和33年10月 4日	昭和36年 9月 30日
井 口 一 郎	昭和36年10月 1日	昭和40年 9月 30日
平 賀 吉 郎	昭和40年10月 1日	昭和51年 3月 31日
八 島 元 悠	昭和51年 6月 12日	昭和56年 8月 6日
遠 藤 幸四郎	昭和56年 8月 17日	平成 元年 9月 30日
須 藤 泰 将	平成 元年10月 1日	平成 5年 9月 30日
葉 坂 恒 夫	平成 5年10月 1日	平成12年 3月 31日
砂 金 勲	平成12年 4月 1日	平成14年12月 31日
影 山 一 郎	平成15年 1月 1日	平成25年 9月 30日
百 井 崇	平成25年10月 1日	令和 5年 9月 30日
及 川 浩 市	令和 5年10月 1日	

6. 教育のあゆみ

年号	事項	年号	事項
明治6	1873 小学校が6校開校（小川・南長谷・岩沼・本郷・下野郷・早股）	56	1981 岩沼市民テニスコート開設
12	1879 早股学区より寺島小学校（寺島分校）を分離		玉浦小学校校舎完成（鉄筋校舎）
22	1889 町村制で岩沼町・千貫村・玉浦村となる。	57	1982 岩沼中学校校舎増築
25	1892 下野郷・早股小学校が合併し玉浦小学校となる。		岩沼小学校管理棟完成
28	1895 玉浦小学校相野釜分教場（後、相野釜分校）設置		岩沼市文化協会設立
35	1902 千貫小学校志賀分教場（後、志賀分校）設置	59	1984 西公民館開館
大正7	1918 玉浦村立玉浦通俗図書館創立		岩沼市図書館東・西分館開設
9	1920 南長谷・小川小学校が合併し千貫小学校となる。	61	1986 岩沼西中学校開校（北中から分離、岩中を含め学区を一部変更）
昭和22	1947 学制改革による岩沼中・玉浦中・千貫中開校		岩沼市民会館・中央公民館開館
			千貫・玉浦・岩沼の3地区に公民館設置
			岩沼小に学校給食施設設置
23	1948 岩沼高等女学校にかわり、名取高等学校設置	62	1987 岩沼西小学校増築
25	1950 千貫小学校校舎火災（現三色吉）		第1回第九演奏会
26	1951 岩沼ではじめて発掘調査が行われる。	63	1988 岩沼北中学校改築（一部木造）
27	1952 教育委員会できる。（委員公選制）		岩沼市図書館児童閲覧室増築
30	1955 旧岩沼町、玉浦、千貫村合併し、「岩沼町」ができる。	平成元	1989 第1回市民文化芸術祭
			岩沼市陸上競技場オープン
31	1956 教育委員任命制になる。	2	1990 岩沼市陸上競技場オープン
32	1957 玉浦小中学校矢野目分校（ベッツスクール）開校	4	1992 第1回いわぬまエアポートマラソン
35	1960 玉浦小中学校矢野目分校廃校	5	1993 岩沼北中学校給食施設設置及び開始
37	1962 岩沼北中学校開校（千貫中学校閉校し岩沼中を含め学区を一部変更）		岩沼市総合体育館開館
39	1964 岩沼中学校校舎火災（現大手町）	6	1994 岩沼西小学校給食室増築
40	1965 岩沼中学校完成		岩沼西中学校給食施設設置及び開始
41	1966 岩沼公民館完成		玉浦中学校屋内運動場改修
43	1968 玉浦中学校完成	8	1996 玉浦小・玉浦中学校プール改修
45	1970 千貫小学校志賀分校廃校		岩沼市生涯学習基本構想策定
			岩沼中学校校舎改築
			岩沼中学校給食施設設置及び開始
			玉浦中学校給食開始（北中からの搬送）
46	1971 岩沼町立学習館設置	9	1997 岩沼市図書館貸出業務OA化
			「岩沼市」へ市制施行
			ことばの教室（岩小）開設
47	1972 岩沼市民体育センター開館	10	1998 玉浦小学校下野郷・寺島両分校廃校
48	1973 玉浦小学校相野釜分校廃校		教育委員会事務局組織改正
49	1974 玉浦公民館開館		玉浦中学校校舎、屋内運動場改築
			玉浦中学校給食施設設置
		11	1999 岩沼小学校北校舎大規模改造及び耐震補強
50	1975 岩沼市図書館開館	12	2000 小学校教材用コンピュータ導入（4小）
51	1976 市立玉浦幼稚園開園		陸上競技場3,000m障害走用水濠設置
52	1977 千貫小学校及び千貫小学校南長谷分校廃校		玉浦幼稚園、玉浦小学校へ併設移転
			小学校指導助手導入
		13	2001 玉浦小学校屋内運動場改築
			児童生徒用A版机整備（～2004）
53	1978 宮城県沖地震（震度5、各学校被害大）		インターネット接続（4小・4中）
54	1979 岩沼南小学校開校（岩沼小から分離、岩沼西小を含め学区を一部変更）		ユニーク先生活用事業導入
		14	2002 岩沼市民テニスコート改修
			特別支援指導助手導入
55	1980 岩沼市青少年家庭教育相談室開設	15	2003 耐震度調査の実施（西小南校舎）
			図書館情報インターネット公開システム導入
		16	2004 玉浦幼稚園閉園
			小学校週2回米飯給食実施
			耐震度調査（西小北校舎・南校舎・体育館）
			耐震度調査（南小校舎・体育館）
		17	2005 耐震度調査（玉小校舎・岩中東校舎・岩中体育館）
			耐震度調査（岩小体育館・北中体育館）
			放課後子ども教室推進事業（のびやか教室）開始

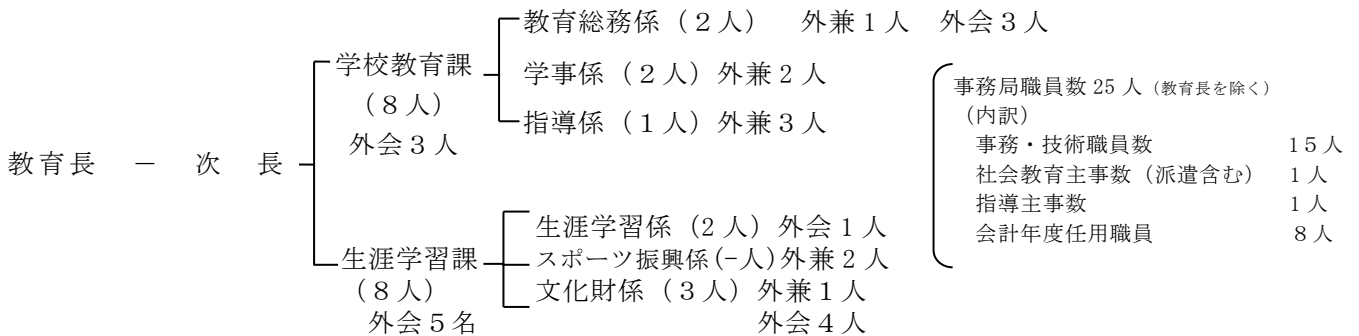
年号	事項	年号	事項
平成18	2006 只野文哉記念小中学校科学技術奨励事業開始 耐震補強工事（岩小体育館・西小校舎・南小体育館・岩中校舎・北中体育館） 岩沼公民館閉館	令和2	2020 玉浦小学校体育館天井防災機能強化改修工事完了（2.10月） 玉浦中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2.12月）
19	2007 耐震補強工事（岩中・学校耐震対策完了） 岩沼西小学校特別教室増設		岩沼西小学校体育館長寿命化改良工事完了（元.11月着工～2.12月完成）
20	2008 教育委員会点検評価開始 新市史編纂開始		小中学校学習者用端末（タブレット）整備業務（2.12月）
21	2009 岩沼中学校屋内運動場改築 新図書館建設着工 夢あこがれプロジェクト事業開始	令和3	2021 小中学校校内ネットワーク整備業務（3.2月） 国名勝おくのほそ道の風景地「武隈の松」保存活用計画策定（3.3月）
23	2011 東日本大震災（震度6弱、各学校被害大） 玉浦小・中学校は津波により特に被害大 岩沼市民図書館開館 寺島学習館、二の倉海浜プール閉館		朝日山公園野球場、テニスコート改修工事完了（3.3月） 小中学校8校の体育館に換気補助送風機設置（3.3月） 新型コロナウイルス感染防止のため公共施設休館（R3.3.27～R3.5.11、R3.8.27～R3.9.12）
24	2012 岩沼西中学校増築校舎完成（24.2月）		市民会館空調設備改修工事完了（2.9月着工～3.6月完成）
25	2013 下野郷学習館閉館		学び支援教室「ほっとルーム」西中設置（R3.4月）
26	2014 岩沼北中学校 給食調理業務委託開始（26.1月） 武隈の松（二木の松）が「おくのほそ道の風景地」として国名勝に指定される（26.3月）	令和4	2022 中学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R4.1月） 西公民館閉館（R4.3.31） 西コミュニティセンター開館（R4.4月） 統合型校務支援システム本格稼働（R4.4月） 学び支援教室「ほっとルーム」北中設置（R4.4月）
27	2015 岩沼中・玉浦中・岩沼西中学校 給食調理業務委託開始（27.2月） 第1回岩沼市総合教育会議開催（27.5月） 学力向上推進事業（学び塾）開始		3月、2月の福島県沖地震により被害を受けた岩沼市総合体育館の災害復旧工事が完了（R4.6月）
28	2016 岩沼に愛着を持つ人材育成事業開始 岩沼小学校・玉浦小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 岩沼市学校施設長寿命化計画策定 原遺跡発掘調査開始	令和5	2023 小学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R5.1月） 生涯学習課が市民会館・中央公民館へ移動（R5.4月） 教育総務課が学校教育課に統合（R5.4月）
29	2017 玉浦コミュニティセンター開館 玉浦公民館閉館（H29.4.30） 岩沼西小学校・岩沼南小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了		
30	2018 玉浦小学校・岩沼西小学校 給食調理業務委託開始（30.2月） 岩沼北中学校・岩沼西中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 陸上競技場走路・フィールド改修工事完了		
31	2019 岩沼小学校・岩沼南小学校 給食調理業務委託開始（31.2月） 体育施設指定管理者制度導入（31.4月）		
令和元	各小中学校・普通教室へのエアコン設置完了（30.12月着工～元.6月完成） いわぬま子どもの心のケアハウス運営開始（元.7月） 部活動支援事業開始（元.12）		
令和2	2020 新型コロナウイルス感染拡大防止のため小中学校臨時休業（R2.3.2～R2.5.31） 公共施設休館（R2.2.29～R2.5.17） 岩沼中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2.3月）		

教育委員会組織機構



8. 教育委員会職員の状況 (令和5年5月1日現在)

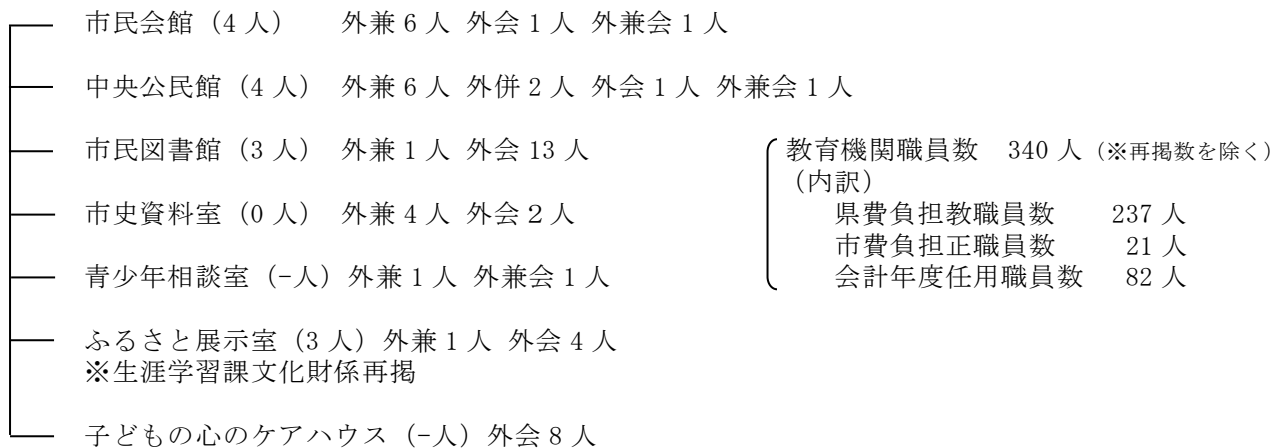
事務局



教育機関

区分	県費負担教職員									市費職員※						合計
	校長	教頭	主幹教諭	教諭	講師等	養護教諭	栄養教諭・技師	事務職員	計	栄養士	業務員	司書・司書補	学校指導助手	特別支援支援員	計	
小学校	岩小	1	1	1	28	1	1	1	35	0	2	2	4	2	10	45
	玉小	1	1	1	19	2	1	0	26	1	2	1	3	未	7	33
	西小	1	2	1	37	2	2	1	48	0	2	2	4	3	11	59
	南小	1	1	1	23	3	1	0	32	1	2	1	3	2	9	41
	小計	4	5	4	107	8	5	2	6	141	2	8	6	14	7	37
中学校	岩中	1	1	1	17	1	1	1	24	0	2	1	2	0	5	29
	玉中	1	1	1	12	2	1	0	19	1	2	1	1	0	5	24
	北中	1	1	2	16	1	1	0	23	1	2	1	1	2	7	30
	西中	1	1	1	24	0	1	1	30	0	2	1	1	2	6	36
	小計	4	4	5	69	4	4	2	4	96	2	8	4	5	4	23
合計	8	9	9	176	12	9	4	10	237	4	16 ⁽¹²⁾	10 ⁽⁹⁾	19 ⁽¹⁹⁾	11 ⁽¹¹⁾	60 ⁽⁵¹⁾	297

※括弧書き人数は、会計年度任用職員である。



9. 東日本大震災について

平成 23 年 3 月 11 日金曜日午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の地震が発生し、岩沼市は震度 6 弱の激しい揺れにみまわれ、その後に襲来した高さ 8m を超える大津波により県道塩釜亘理線から東の区域では、多くの人命が奪われ住居が流出するなど未曾有の大災害となった。

地震と津波は公共施設や道路・橋梁に大きな爪痕を残したが、津波被害を受けた玉浦小中学校を含む市内全小中学校は、元の場所で平成 23 年 4 月 21 日から再開、生涯学習施設は準備の整った施設から逐次再開し、市街地型公共施設として計画された市民図書館は予定通り平成 23 年 5 月 28 日に開館の運びとなった。社会体育施設で最も被害が大きかった総合体育館は、平成 24 年 9 月から始まった大規模修繕により平成 25 年 12 月に再開した。

被災された方々の地域コミュニティを守る形で、希望者全員に順次仮設住宅に入居していただき、平成 23 年 6 月 4 日には被災地で最初に避難所を閉鎖することができた。心のケアなどのサポートセンターも、いち早く開設、震災復興計画「愛と希望の復興」を他の被災市町よりも先駆けて策定、その具現化に向けた各種事業等を行ってきた。

集団移転事業がいち早く国の認可を受けたことにより、平成 24 年 8 月 5 日に玉浦西地区の個人住宅宅地の起工式、平成 25 年 12 月、平成 26 年 3 月及び 4 月の 3 期にて宅地引き渡しを完了。平成 26 年 4 月 16 日には災害公営住宅の起工式を行い、平成 27 年 2 月には入居が始まった。震災から 5 年をかけて仮設住宅の入居者全員が自立し、平成 28 年 4 月 28 日、県内沿岸被災地では初となる仮設住宅の閉所式を行った。

また、人が住めなくなった土地を活用して震災ガレキを用いた、復興のシンボル「千年希望の丘」を整備した。平成 25 年 6 月 9 日に第 1 回植樹祭を行い、約 30,000 本の苗を植樹。その後も植樹、育樹活動が続き、約 35 万本の木々により「緑の堤防」を形成している。この場所は、震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として活用されている。

なお、平成 27 年 3 月 13 日、当時の天皇皇后両陛下が本市を訪問され、慰霊碑に御供花のうえ、復興状況を御視察された。

1 岩沼市全体の被害（平成 26 年 3 月刊「東日本大震災岩沼市の記録」より）

(1) 人的被害

直接死 180 人（死体確認数）※①+③の合計数

間接死 6 人（当該災害が原因で死亡）

①市内で亡くなった市民 133 人（小学生 1 人、中学生 2 人を含む）

②市外で亡くなった市民 16 人

③市内で亡くなった市外居住者 47 人

行方不明 1 人（戸籍法に基づく死亡の届出あり）

(2) 住居被害

全壊 736 戸、大規模半壊 509 戸、半壊 1097 戸、一部損壊 3086 戸、計 5428 戸

床上浸水 1611 棟、床下浸水 114 棟、非住家被害 3126 棟

(3) 道路橋梁の被害

道路被災：198 路線、239 か所

橋梁被災：19 橋

2 教育委員会所管施設の被害状況

(1) 小・中学校

施設名	被害状況
岩沼小学校	敷地内タイルなどに亀裂、破損
玉浦小学校	校舎1階、体育館の床上浸水、校庭に20cmの汚泥堆積
岩沼西小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校舎全般に亀裂
岩沼南小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校庭と花壇の陥没
岩沼中学校	体育館天井・周辺側溝破損、給食設備の破損
玉浦中学校	校庭に20cmの汚泥堆積、体育館外壁と敷地フェンス破損
岩沼北中学校	体育館軒裏天井落下及び窓ガラスの破損
岩沼西中学校	体育館外壁・天井パネル・照明の破損、敷地フェンス破損

(2) 社会教育施設

施設名	被害状況
市民会館 中央公民館	建物壁及び床に亀裂、建物周辺のタイル・舗装などが破損 舞台装置及び天井裏設備の破損
玉浦公民館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損
岩沼西公民館	地盤沈下による駐車場破損、建物周りの側溝破損
下野郷学習館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損 五間堀川拡張工事に伴い解体（平成27年3月）
寺島学習館	津波による被害で復旧が困難となり解体

(3) 社会体育施設

施設名	被害状況
総合体育館	建物本体と屋根とのジョイント部分の大規模破損
市民体育センター	天井の落下、内壁の破損
陸上競技場	走路部分に亀裂
朝日山公園 野球場・テニスコート	テニスコート面に亀裂
矢野目運動広場	津波による汚泥の堆積、トイレ設備の破損
二の倉海浜プール	津波による被害で復旧が困難となり解体
阿武隈川サイクリングコーストイレ	津波による被害で復旧が困難となり解体
多目的グラウンド	仮設住宅敷地のため、一時使用中止 （平成28年10月30日に利用再開）

(4) 指定文化財

種別		名称	被害状況	
県指定	記念物	史跡	かめ塚古墳	なし
市指定	有形文化財	絵画	米づくりの額、藍づくりの額	なし
		建造物	竹駒神社楼門（隨身門）	ズレと傾斜発生
	竹駒神社向唐門		なし	
	無形民俗文化財		竹駒奴	なし
	記念物	名勝	武隈の松（二木の松）	なし
渡邊庭園			石灯籠倒壊	

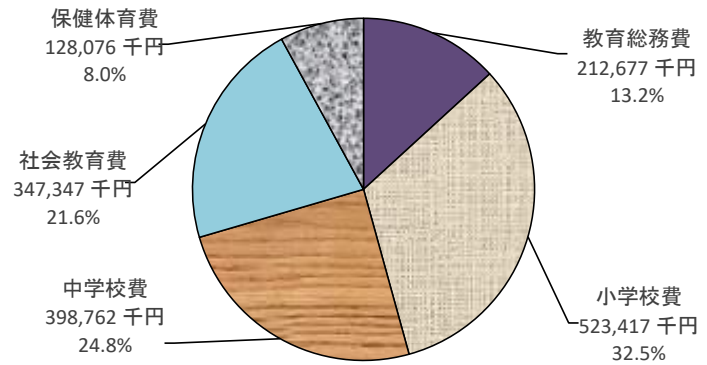
10. 教育財政（令和5年度当初予算）

○教育予算 1,610,243千円

【歳入】

	金額(千円)
一般財源	1,430,059
国県支出金	28,529
使用料	8,123
基金繰入金	136,840
市債	0
その他	6,692

【歳出】



令和5年度に予定している大規模工事等

- 岩沼西中学校校舎照明LED化
- 岩沼北中学校北校舎共用部床修繕
- 玉浦中学校給食下処理室修繕
- 岩沼西小学校校舎長寿命化改修設計
- 小中学校8校建築物定期検査（12条点検）

○一般会計と教育予算

(千円)

年度	一般会計	教育費	比率%
平成22	15,627,000	2,176,368	13.9
23	14,055,000	1,591,668	11.3
24	32,394,000	1,439,294	4.4
25	47,763,000	1,472,262	3.1
26	28,095,000	1,465,213	5.2
27	32,437,000	1,760,851	5.4
28	18,568,000	1,529,530	8.2
29	20,151,000	1,453,556	7.2
30	19,740,000	1,837,520	9.3
31	18,409,000	1,607,851	8.7
令和2	18,537,000	2,000,436	10.8
3	17,165,000	2,009,215	11.7
4	17,400,000	1,590,546	9.1
5	18,157,000	1,610,243	8.9

Ⅲ 学校教育

1. 学校施設一覽

区分 学校名	建物 (㎡)					校地 (㎡)	
	非木造	木造	計	校舎			屋内運動場
				給食室			
岩沼小学校	7,084.96	0	7,084.96	5,480.73	199.00	1,300.00	21,238.59
玉浦小学校	5,008.94	39.31	5,048.25	3,608.06	131.00	1,281.32	21,383.00
岩沼西小学校	8,907.92	1.70	8,909.62	7,451.55	217.80	969.23	26,073.64
岩沼南小学校	7,088.74	0	7,088.74	5,575.32	186.00	1,200.00	22,587.89
計	28,090.56	41.01	28,131.57	22,115.66	733.80	4,750.55	91,283.12

区分 学校名	建物 (㎡)					校地 (㎡)	
	非木造	木造	計	校舎			屋内運動場
				給食棟・室			
岩沼中学校	8,539.76	19.44	8,559.20	6,145.23	258.00	1,774.00	28,053.45
玉浦中学校	6,834.86	19.44	6,854.30	4,652.99	534.00	1,744.17	28,815.94
岩沼北中学校	5,065.08	1,037.66	6,102.74	4,729.30	299.20	1,017.51	25,966.96
岩沼西中学校	7,502.93	0	7,502.93	5,598.40	299.40	1,215.00	33,166.10
計	27,942.63	1,076.54	29,019.17	21,125.92	1,390.60	5,750.68	116,002.45

2. 児童・生徒数の推移

1 小学校

(令和5年5月1日現在)

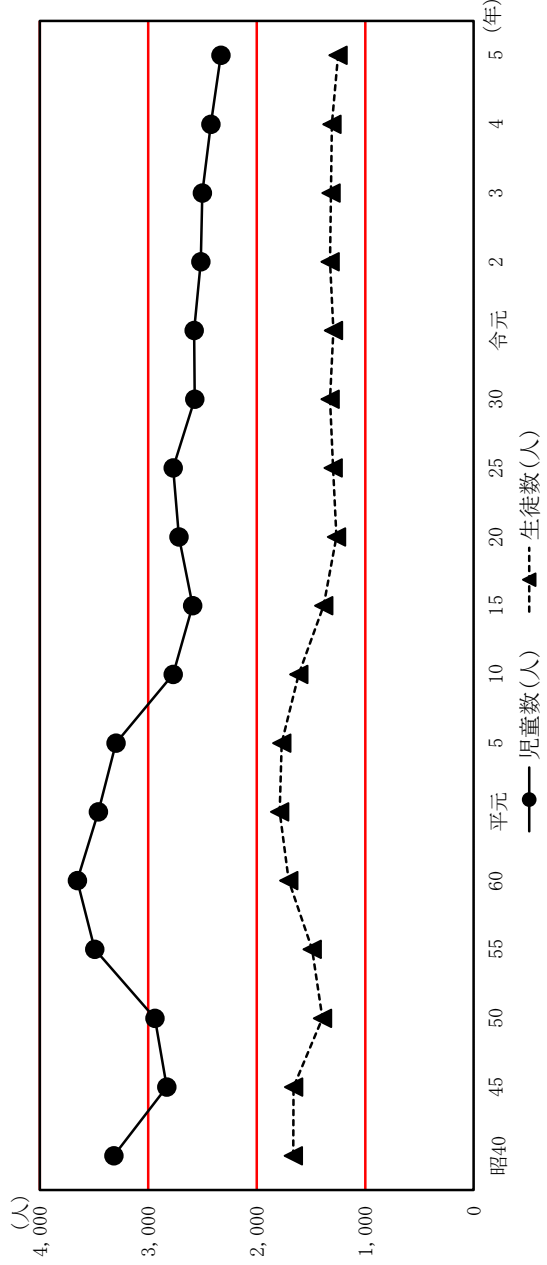
年度	昭40	45	50	55	60	平元	5	10	15	20	25	30	令元	2	3	4	5
学校数	(5) 8	(4) 7	(3) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級数	(4) 91	(5) 84	(7) 89	(8) 99	(7) 105	(8) 106	(8) 105	(8) 90	(13) 91	(10) 91	(14) 96	(16) 93	(17) 95	(16) 90	(16) 92	(17) 91	(17) 89
児童数(人)	3,316	2,829	2,940	3,494	3,655	3,460	3,298	2,771	2,592	2,717	2,770	2,571	2,576	2,516	2,501	2,423	2,331

2 中学校

(令和5年5月1日現在)

学校数	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級数	(2) 48	(4) 46	(2) 37	(1) 40	(2) 45	(4) 51	(4) 55	(5) 52	(7) 47	(7) 46	(8) 48	(12) 53	(9) 48	(10) 51	(11) 53	(12) 50	(9) 45
生徒数(人)	1,664	1,661	1,394	1,488	1,705	1,788	1,770	1,613	1,383	1,264	1,296	1,324	1,292	1,324	1,315	1,308	1,250

※ () は、分校数及び特別支援学級数を内書



3. 学校別児童・生徒数

1 小学校

(令和5年5月1日現在 上段：学級数、下段：児童数)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
岩沼小学校	3 76	2 65	3 95	2 68	3 91	3 88	4 15	20 498
玉浦小学校	2 62	2 67	3 78	2 56	2 80	2 64	4 17	17 424
岩沼西小学校	4 123	5 147	4 134	5 170	5 165	4 150	5 35	32 914
岩沼南小学校	3 72	2 59	3 83	3 93	3 100	2 70	4 18	20 495
計	12 333	11 338	13 390	12 387	13 425	11 372	17 75	89 2,331

2 中学校

(令和5年5月1日現在 上段：学級数、下段：生徒数)

学校名	1年	2年	3年	特別支援	計
岩沼中学校	3 102	3 104	3 110	2 14	11 330
玉浦中学校	3 71	2 79	2 64	2 5	9 219
岩沼北中学校	2 59	2 62	2 74	3 13	9 208
岩沼西中学校	5 160	5 167	4 153	2 13	16 493
計	13 392	12 412	11 401	9 45	45 1,250

4. 私立幼稚園児数

(令和5年5月1日現在 単位：人)

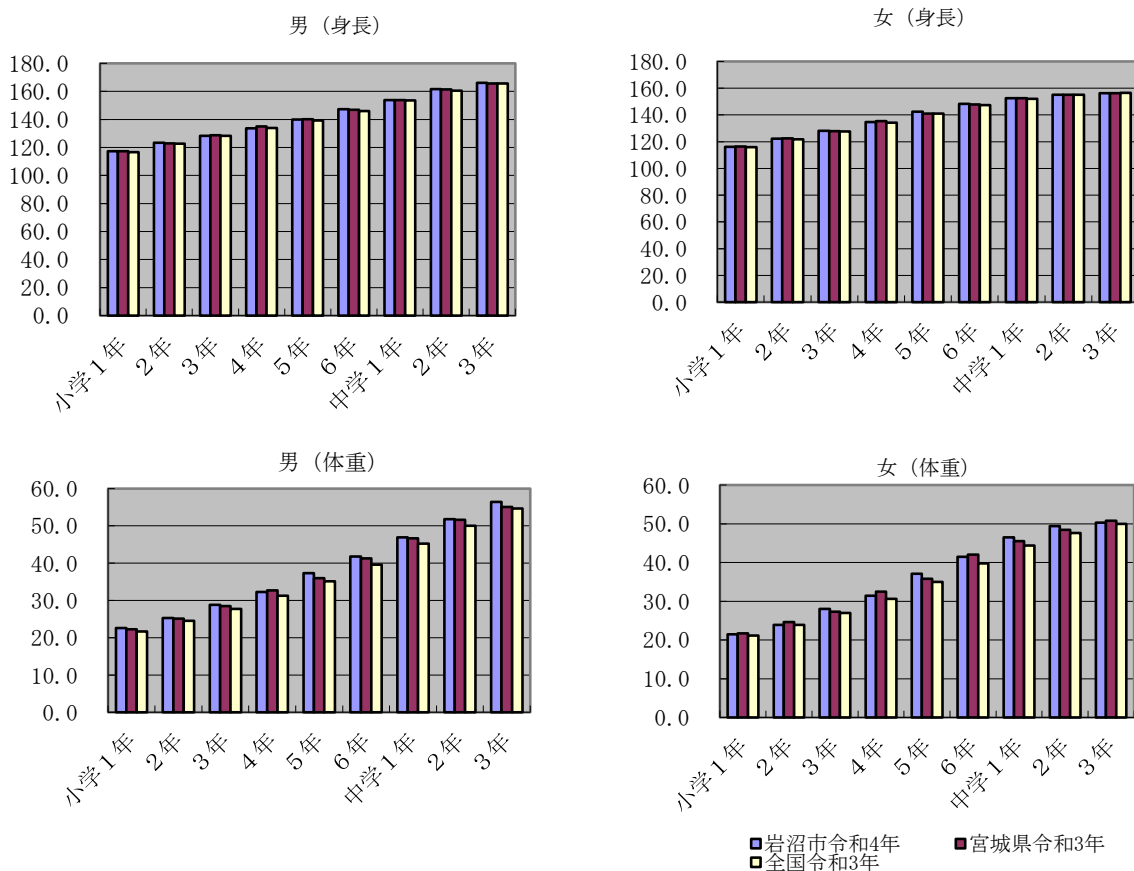
園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
岩沼さくら幼稚園	50	54	67	171
岩沼こぼと幼稚園	27	45	29	101
岩沼南こぼと幼稚園	52	69	70	191
計	129	168	166	462

※満3歳児7人

5. 児童・生徒の体位状況

性別	男					女					
区分	岩沼市			宮城県	全国	岩沼市			宮城県	全国	
年度	H20	H25	R4	R3	R3	H20	H25	R4	R3	R3	
身長 (cm)	小学1年	116.9	116.6	117.2	117.4	116.7	116.1	115.9	116.1	116.4	115.8
	2年	123.0	123.0	123.4	122.9	122.6	121.7	121.9	122.2	122.5	121.8
	3年	128.5	128.1	128.3	128.8	128.3	127.1	128.2	128.2	127.9	127.6
	4年	133.9	134.5	133.6	134.9	133.8	133.9	134.2	134.6	135.3	134.1
	5年	139.7	139.1	140.0	140.1	139.3	140.3	140.4	142.4	141.0	140.9
	6年	145.7	145.1	147.3	146.9	145.9	147.2	146.8	148.3	147.9	147.3
	中学1年	153.6	153.2	153.8	153.8	153.6	151.7	152.0	152.5	152.6	152.1
	2年	160.2	160.3	161.7	161.4	160.6	155.3	154.8	155.2	155.1	155.0
	3年	166.6	165.4	166.2	165.6	165.7	157.6	155.8	156.3	156.3	156.5
体重 (kg)	小学1年	22.0	21.5	22.6	22.3	21.7	21.4	21.1	21.5	21.7	21.1
	2年	24.7	24.6	25.3	25.1	24.5	23.8	23.7	23.9	24.6	23.9
	3年	28.0	27.3	28.8	28.5	27.7	26.8	27.2	28.0	27.3	27.0
	4年	31.3	32.3	32.3	32.7	31.3	30.7	30.8	31.4	32.5	30.6
	5年	36.1	34.8	37.3	36.0	35.1	34.3	34.8	37.1	35.8	35.0
	6年	40.0	39.7	41.8	41.3	39.6	40.4	39.9	41.5	42.0	39.8
	中学1年	45.4	45.1	46.9	46.7	45.2	45.2	44.3	46.5	45.5	44.4
	2年	49.9	50.7	51.8	51.6	50.0	48.4	47.4	49.4	48.4	47.6
	3年	56.8	55.4	56.4	55.1	54.7	51.5	50.5	50.3	50.8	50.0

宮城県平均値：令和3年度文部科学省学校保健統計値
 全国平均値：令和3年度文部科学省学校保健統計値



6. 学校紹介

岩沼小学校



郵便番号	989-2432	創 立 日	明治 6 年 6 月 26 日
住 所	岩沼市中央二丁目 1 番 1 号	開校記念日	6 月 26 日
電話番号	0223-22-2145	校 木	プラタナス
FAX番号	0223-22-2146	校 長	菊池 晃子
メ ー ル	chief1@iwasho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwasho.iwanuma-ed.jp		【児童数 498 人 学級数 20】

校訓 「正直」「親切」「勤勉」（明治 37 年制定）

教育目標 共に学び合う、心豊かで心身共に健康な児童の育成

【目指す児童像】

- 「ふ」 **ふ**かく考え、工夫する子（知）
- 「た」 なかよく **た**すけ合う子（徳）
- 「き」 心と体を **き**たえる子（体）

努力事項と具体的取組

1 信頼と共感による人間関係づくり

- 「自己肯定感・自己存在感の醸成」「落ち着きのある環境づくり」
- 互いに認め、励まし合う学年・学級経営
 - 自然なあいさつと温かな言葉遣い
 - 落ち着いた、きれいな環境づくり
 - 人権教育・福祉教育の推進
 - 教師による「居場所づくり」と児童による「絆づくり」の推進

2 意欲が湧き、分かりやすい授業づくり

- 「質の高い授業の追求」「ICT 教育『まなび i 岩小スタイル』の充実」
- 年一人 1 回以上の授業公開
 - 基礎学力の定着と思考を深める授業実践
 - ノート指導の充実（書く活動の重視）
 - 深く考えさせるための ICT の効果的活用
 - 読書活動・図書室利用の促進

3 心身の健康と生活習慣づくり

- 「基本的生活習慣の定着と体力づくり」「食育の推進」
- 早寝、早起き、朝ごはんの推奨と生活リズムの確立
 - 家庭学習の習慣づくり
 - 安全教育、防災教育の日常的な取組
 - 体づくりと外遊びの推進
 - 食育による健康促進

玉浦小学校



郵便番号	989-2424	創立日	明治6年6月
住所	岩沼市早股字小林 396 番地の 1	開校記念日	5月30日
電話番号	0223-22-2702	校 木	くろまつ・はまぎく
FAX番号	0223-22-2759	校 長	加藤 かほる
メール	chief2@tamasho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.tamasho.iwanuma-ed.jp		【児童数 424 人 学級数 17】

教育目標 自ら考え共に学び 豊かな心を持ち
健康でたくましく生きる たまうらの子の育成

【目指す児童像】

- (知) 自ら考え共に学ぶ子供
 - よく聴き、自分の考えを持って交流し、深め合う子供
 - 進んで学習に取り組み、最後までしっかりと学ぶ子供
- (徳) 豊かな心を持った子供
 - 思いやりがあり、優しさと責任感のある子供
 - あいさつ、返事がしっかりできる子供
- (体) 健康でたくましく生きる子供
 - 元気に遊び、進んで身体を鍛え、目標に向かって粘り強く努力する子供
 - 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に着け、健康な生活を送る子供

教育活動の重点努力事項

- 1 「自ら考え共に学ぶ子供」の育成のために、
 - 「学ぶ楽しさ」「分かった」「できた」を実感させる授業づくり
 - 基礎的な学力の定着と活用する力の育成 ○思考力・判断力・表現力の育成
 - 学習規律・学習習慣の確立 ○「学力向上に向けた5つの提言」の実現
- 2 「豊かな心を持った子供」の育成のために、
 - 自分の居場所、一人一役、活躍する場面がある学級づくり
 - 「あいさつ」「返事」ができ、礼儀正しい行動がとれる子供の育成
 - 道徳的実践力を育てる道徳教育の充実 ○いじめ不登校の未然防止・早期発見・早期対応
 - 地域に根差した教育活動との連携
- 3 「健康でたくましく生きる子供」の育成のために、
 - 教科体育の充実、朝の活動・業間外遊びの奨励、体育委員会の行事
 - 防災・安全教育を通して「自分の命は自分で守る」力の定着
 - 目標を設定し、励ましを行い、最後までがんばる気持ちを育てる
 - 「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣が定着するように呼びかける
 - 保健安全に関する教育環境及び施設設備の充実

岩沼西小学校



郵便番号	989-2456	創 立 日	昭和 52 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市松ヶ丘一丁目 17 番地	開校記念日	5 月 1 日
電話番号	0223-24-3780	校 木	くろまつ (昭和 56 年制定)
FAX番号	0223-24-3790	校 長	森 伴久
メ ー ル	chief3@iwanishisho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwanishisho.iwanuma-ed.jp		【生徒数 914 人 学級数 32】

校是 「真」 「愛」 「勇」

教育目標 学ぶ意欲と豊かな心を持ち、心身共に健康でたくましい児童の育成

【目指す児童像】

- 進んで学習する子供
- 思いやりのある子供
- 体をきたえる子供
- よくがんばる子供

教育活動の重点事項

1 確かな学力の定着と学ぶ意欲の向上

- 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 教師の指導力の向上
- 学習規律、学習習慣の確立

2 豊かな心の育成と夢や希望をもたせる活動の充実

- 出番と居場所のある学級づくり
- 道徳教育の充実
- 成就感、自己有用感、志等を高める体験活動の充実
- 読書活動の充実

3 健やかな心身と体力づくりの充実

- いじめ・不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応
- 基礎体力と運動技能の向上
- 安全・健康教育の推進
- 安全な環境づくりと危機管理意識の高揚

4 特別支援教育の理解と充実

- 機能する校内支援体制の構築
- 教職員の特別支援教育への理解の促進
- 障がいやニーズに即した指導法の工夫と支援の充実
- 通常学級と特別支援学級との交流の推進

5 信頼され魅力ある学校づくりの推進

- 家庭、地域への積極的な情報発信・受信
- 落ち着きと潤いのある環境整備
- 学校評価の充実と学校経営への反映
- 家庭、地域と連携した教育活動の推進

岩沼南小学校



郵便番号	989-2445	創 立 日	昭和 54 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市桑原四丁目 4 番 1 号	開校記念日	5 月 30 日
電話番号	0223-24-4115	校 木	いちよう・さつき
FAX番号	0223-24-4126	校 長	柴田 新二
メ ー ル	chief4@iwaminamisho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwaminamisho.iwanuma-ed.jp		【児童数 495 人 学級数 20】

校訓 「むつまじく」「たくましく」「ほがらかに」

教育目標 いきいきと実践する笑顔あふれる児童の育成

【目指す児童像】

- 思いやりのある子ども 「むつまじく」
- たくましい子ども 「たくましく」
- 進んで学ぶ子ども 「ほがらかに」

学校経営の重点事項

1 子ども一人一人を考えた教育活動の推進

- 児童理解を大切にした、学級・学年経営の充実
- 生徒指導・教育相談の充実
- 基本的な集団生活習慣の形成
- 特別支援教育の推進
- 道徳教育の充実
- 志教育の充実
- 地域連携・体験活動の充実

2 学力向上に関わる教育指導の充実

- 「主体的、対話的で深い学び」のある授業、分かる授業の追求
- 学習規律・学習習慣の形成
- 校内研修、校内共同研究の充実
- 読書活動の推進と充実 一人100冊運動
- 教科担任制の導入（高学年を中心に）

3 安全、防災、健康に関わる教育指導の推進

- 東日本大震災の教訓を受け継ぐ
- 学校安全の充実
- 保健指導の充実
- 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進と食育教育
- 体育科の授業・外遊びの充実

4 信頼される学校づくりの推進

- 地域と共につくる開かれた学校づくり
- 積極的な情報発信・収集
- 家庭、地域等との連携の強化
- 安心安全な学校づくり

岩沼中学校



郵便番号	989-2445	創立日	昭和 22 年 4 月 1 日
住所	岩沼市桑原四丁目 8 番 1 号	開校記念日	4 月 19 日
電話番号	0223-22-2814	校 木	くろまつ (昭和 52 年制定)
FAX番号	0223-22-2995	校 長	宮本 利浩
メール	chief5@iwachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwachu.iwanuma-ed.jp		【生徒数 330 人 学級数 11】

校訓 「自立」 「友愛」

教育目標 友愛の精神を身に付け 自立した生き方のできる生徒の育成

【目指す生徒像】

- 調和のとれた心豊かな生徒
- 自ら学び、自ら考える生徒
- 柔軟で創造的で広い視野を持つ生徒

1 目指す学校像

「学校の果たす役割を理解し、学校でしか経験できない活動の積み重ねを大切にする学校」

～つながりとかかわりを大切にした学校づくり～

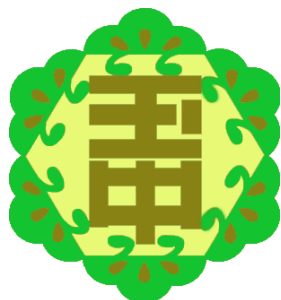
2 教育活動を展開する上での基本姿勢

- (1) 愛情をもって接し、成長を後押しすることに真摯にあたる
- (2) 意欲が湧き、わかりやすい授業づくりに努める
- (3) 多様な見方・考え方を理解し、人権感覚を大切にした心の教育に努める
- (4) 落ち着いた美しい環境づくりに努める
- (5) 居場所をつくり、絆を深める取り組みを大切にする

3 学校経営に当たって

- (1) コロナ禍の経験を生かした柔軟な対応と創意工夫
- (2) ICT の効果的活用
- (3) 適切な情報発信と説明責任と地域や家庭との連携
- (4) 報告・連絡・相談・調整と確認
- (5) 業務の効率化と働き方改革

玉浦中学校



郵便番号	989-2429	創 立 日	昭和 22 年 4 月 18 日
住 所	岩沼市恵み野二丁目 4 番地の 1	開校記念日	4 月 18 日
電話番号	0223-22-2704	校 木	くろまつ・はまなす
FAX番号	0223-22-2905	校 長	佐藤 秋生
メ ー ル	chief6@tamachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.tamachu.iwanuma-ed.jp		【生徒数 219 人 学級数 9】

教育目標 心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた
心豊かにたくましく生きる生徒の育成

【目指す生徒像】

- ねらいをもって学習する生徒【知】
- 思いやりを持つ生徒【徳】
- 心身を鍛える生徒【体】

教育目標を達成するための重点施策

1 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を培う。

- 学校の道筋とゴールが見えるねらいを明確にし、適応問題や感想などの振り返りまでを時間内で行うことで生徒に学びの実感と次の学習への意欲を持たせるようにする。
- 発問の工夫と ICT 等の活用で思考と対話のある授業づくりに努める。
- 単元や題材を通したまとまりの中で、学習の見通しを持たせ、その学習を振り返る場面を適切に設定し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- 学び塾の活用、家庭学習の手引きや教科の振り返りシート等の活用とタブレットドリル等で学習習慣の確立を図る。
- 小中職員間での授業参観や情報交換などを通し、生徒実態を踏まえた指導や小学校での指導の上に積み上げる指導を行う。
- 不登校・別室登校・コロナ対応・長期入院等であっても、生徒の学ぶ機会を止めない。希望すれば、常時リモート授業を提供していく。

2 自他のよさに気づき、認め合う心を育てる。

- 生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）の充実を図り、一人一人の良さを認め合わせ、自己有用感・自己満足感を与えながら、個々の居場所づくりを進める。
- 不登校及びいじめの未然防止や早期発見・早期解決に向け、観察や声がけ、調査、面談、保護者との連絡などにより見立てを行い、SC 等を含めた協働体制で対応する。また、小学 6 年生に学

校紹介や授業体験を行い、中学校生活への心構えを持たせる。

○他者との意見の違いを建設的に調整できるコミュニケーション能力を育てる。

3 健康で安全・安心な生活を実現するための実践力を養う。

○防災教育を中心に自分の命は自分で守るという意識を育てるとともに、地域で果たすべき役割を考え、地域の安全に貢献する心を育てる。

○危機管理能力（知識及び判断力、行動力）を身に付けさせ、危険を回避する力と安全・安心な社会づくりに貢献する心を身に付けさせる。

○給食時間や各教科・領域の時間と関連を図りながら、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。

○授業や部活動などを通し、運動に親しませるとともに、体力及び運動能力の向上を図る。

○情報モラル教育を通して、ネット上のトラブルを防止し、自分の生活を自分で律する力を身に付けさせる。

○感染症対策の基礎知識を身につけさせ、安心・安全な日常生活や学校生活を送るための、管理能力を育てる。

4 みやぎの志教育を推進する。

○職業調べや職業人の話を聞く会を通して、職業の魅力や働きがいなどを感じさせ、夢や志を育む。

○自己の特性を理解し、個性や可能性を生かそうとする意欲や態度を育てる。

○地域社会の一員として、社会に貢献しようとする意欲や態度を育てる。

○生涯にわたり「ふるさと玉浦」を愛し、大切に思う心を育む。

○生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）において、上級生・下級生の縦の交流を活性化し、下級生の上級生に対する尊敬や憧れの念を醸成していく。

岩沼北中学校



郵便番号	989-2431	創 立 日	昭和 37 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市相の原二丁目 3 番 1 号	開校記念日	5 月 6 日
電話番号	0223-22-2874	校 木	いちよう
F A X 番号	0223-22-2997	校 長	加茂 博行
メ ー ル	chief7@iwakitachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwakitachu.iwanuma-ed.jp		【生徒数 208 人 学級数 9】

校訓 「自主」 「親愛」 「健康」 「奉仕」

教育目標 心豊かに たくましく 主体的に生きる人間の育成

目指す生徒像 「磨き合い、高め合う生徒」

【自主】自ら考え進んで実践する生徒

【親愛】思いやりのある生徒

【健康】心身ともに健康な生徒

【奉仕】社会に貢献できる生徒

教育目標を達成するための重点施策

1 【自主】自ら考え進んで実践（学ぶ）する生徒を育成するために

- ①学習に主体的に取り組み、学ぶことの楽しさや成就感を味わうことのできる授業の工夫
- ②学びを実感できる授業の工夫
- ③個々の学びの実態に応じた指導の工夫
- ④自ら学習する生徒の育成
- ⑤読書活動の推進

2 【親愛】思いやりのある生徒を育成するために

- ①花が咲き、互いに挨拶であふれる学びの環境作りの推進
- ②不登校及びいじめの未然防止の取組と早期対応
- ③よりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養
- ④特別活動の充実による、自信の醸成と自己有用感の高揚
- ⑤特別支援教育の理解と福祉教育活動の推進

3 【健康】心身ともに健康な生徒を育成するために

- ①共通理解、共通行動による組織的な生徒指導の推進
- ②食育活動の推進
- ③学級づくりを通じた、生徒間、生徒・教師間の人間関係の醸成
- ④家庭生活習慣の改善を支援する取組の推進
- ⑤主体的な部活動の取組の推進

4 【奉仕】社会に貢献できる生徒を育成するために

- ①進路指導の充実と志教育の推進
- ②アルカス活動やボランティア活動の推進
- ③地域との関わりを大切にした体験活動の推進
- ④地域の実態を踏まえた防災教育の推進
- ⑤保護者・地域の信頼に応える開かれた学校づくりの推進

岩沼西中学校



郵便番号	989-2464	創 立 日	昭和 61 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市三色吉字竹 1 1 番地	開校記念日	1 月 31 日
電話番号	0223-24-3155	校 木	けやき (昭和 61 年制定)
FAX番号	0223-24-3156	校 長	山田 敦子
メ ー ル	chief8@iwanishichu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwanishichu.iwanuma-ed.jp		【生徒数 494 人 学級数 16】

教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像 「知・徳・体の調和のとれた生徒」

- 進んで学習に取り組む生徒
- 困難に負けず心身を鍛えぬく生徒
- 思いやりを持ち協力する生徒

教育目標を達成するための重点施策

1 活力ある充実した教育活動を展開する教育課程編成の工夫

- 評価・反省を適切 (PDCA サイクル) に行い、柔軟な発想と工夫に満ちた教育活動を展開する。
- 縦断的・横断的な計画のもと、体験的活動を重視した総合的な学習の時間の充実を図る。
- 教育活動の精選、タイムマネジメント力の育成と ICT の活用をさらに推進し、働き方改革と効果的な教育活動の両立を図る。

2 授業力を高める校内研究の充実

- 生徒主体の学習スタイルを確立し、授業者、学習者ともに学びの実感が持てる授業づくりを推進する。
- 教員の授業力向上のために、理論と実践を両輪とした校内研究を推進する。
- 学習相談や通級等個別支援の充実の下、個々に応じた指導の実践に努め、学ぶ意欲の高揚を図る。

3 発達指示的生徒指導の推進

- 生徒指導提要改訂の趣旨を理解し、生徒一人ひとりの可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えるための望ましい支援の仕方を追求する。
- 志教育の「かかわる」「もとめる」「はたす」を活かした教育実践を通し、生徒の自己指導能力を高める。
- 学び支援教室や、SC、SSW、あいるーむ等の関係機関と連携しながら生徒の居場所づくりの充実を図る。

4 主体性、自主性を高める生徒会行事・委員会活動の充実

- 生徒会活動の活性化を図り、自主的・自発的な活動を促しながら所属感を与え、帰属意識を高める指導を充実する。
- 生徒が主体的に考え、活動できるように、「支援」「支持」の共通認識のもと、意図的な場の設定を行う。
- 生徒指導 3 機能を意識した学級経営を通して、生徒同士、生徒と教師の絆づくりを図る。

5 環境・美化の整備と充実

- 安全で快適な学校生活を送ることができるよう、環境整備及び施設管理に努め、清潔で安全な学校づくりを目指す。
- 職員の共通理解の下に、保健安全指導のめあてを共有しながら、見通しを持った指導に努める。
- 心身ともに健康で安全な生活を送ることができるように、自ら望ましい生活習慣を形成しようとする態度を育む。
- 防災や安全に対する意識向上のため、体験活動を重視した体系的な防災教育及び安全教育を実施する。

7. 学校給食

1 学校給食の目的

学校給食は身体の発育期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供して健康の保持増進を図るとともに、食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養い、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ろうとするものである。

2 学校給食の実施状況

(1) 小学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間186回

給食内容 週米飯3回、パン2回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

(2) 中学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間175回

給食内容 週米飯3回、パン2回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

3 学校給食費

(1) 小学校 1食につき300円 (2) 中学校 1食につき350円（令和2年4月改定）

令和4年度（令和4年7月以降）及び令和5年度は食材費の高騰対策として、児童生徒1人1食につき40円の補助を行っている。（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用）

4 米飯給食の導入

従来、学校給食はパンを中心とした小麦粉食の形態で実施されていたが、昭和51年の文部省令により米飯を学校給食に位置づけることとされた。当市では、昭和52年から週2回の米飯給食を導入している。その後、児童生徒の嗜好調査等、検討を重ね、昭和54年9月より週3回実施している。また、平成13年4月からは県内産ひとめぼれ一等米を使用している。

5 小学校給食費の推移

(単位：円) ()は市費からの補助含む。

年度	給食回数	1食当たり	保護者負担 (年額)	備 考
昭和51	190	(142) 140	26,600	パン食5回
52	190	(173) 171	32,490	パン食3回 米飯2回
55	190	(199) 196	37,240	パン食2回 米飯3回
56	190	(207.63) 200.63	38,880	〃
59	190	(216.26) 213.26	40,520	〃
61	190	220	41,800	〃
平成 元	186	225	41,850	〃
4	186	240	44,640	〃
10	186	270	50,220	〃
20	186	(272.33) 270	50,220	〃
25	186	270	50,220	〃
26	185	280	51,800	〃
27	186	280	52,080	〃
28	183	280	51,240	〃
29	183	280	51,240	〃
30	183	280	51,240	〃
令和 元	183	280	51,240	〃
2	175	300	52,500	※ 〃
3	186	300	55,800	〃
4	186	300	55,800	〃
5	186	(340) 300	55,800	〃

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月2日～5月31日まで小中学校臨時休業にした。
また、夏季休業を8月8日～8月19日、冬季休業を12月24日～翌年1月4日に短縮した。

IV 生涯学習

1. 社会教育事業

1 青少年健全育成事業

事業名	目的及び内容	実施時期	対 象
相 談 事 業	青少年室相談員が青少年の悩みなどについて、電話や面接によって相談を受ける。	通年 (月～金)	青少年 市 民
街 頭 巡 回 指 導	公園や店舗等を巡回し、青少年の非行を防止し健全育成に努める。また、市内の電柱等に貼付されている有害広告物を撤去する。	毎月 2～3回	青少年
ジュニア・リーダー 初 級 研 修 会	子ども会活動の充実を図るため、研修を行い、指導者を養成するとともに、青少年のボランティア活動、社会参加活動に対する意識の高揚を図る。	7月29日 ～30日 (1泊2日)	中学生 高校生
ジュニア・リーダー 中・上級研修会派遣	子ども会活動の充実を図るため、子ども会指導者として養成する。	中級 8月17日 ～18日 (1泊2日) 上級 12月23日 ～25日 (2泊3日)	〈中級〉 ジュニア・リーダー 初級研修 修了者 〈上級〉 ジュニア・リーダー 中級研修 修了者
子 ども 合 宿	子どもたちが自然の中で、共同生活をしながら自主性や協調性を学ぶ。子ども会の直接指導者となるジュニア・リーダーが活動指導にあたる。岩沼市ジュニア・リーダー協議会主催。	未定	小学 5・6年生
二十歳を祝う会	20歳となった若者を祝福する。	令和6年 1月7日	平成15.4.2 ～平成16.4.1 生まれの方

2 社会教育の推進

事業名	目的及び内容	実施時期	対象
社会教育団体 育成事業	社会教育関係団体の活動を支援する。	通年	市民
人材登録制度 導入事業	生涯学習活動の支援として、人材バンク登録制度を活用する。	通年	市民
子育て・親育ち講座	子を持つ親に対するきめ細やかな家庭教育支援を行うことを目的とした事業。小・中学校で実施。	通年	保護者
コラボスクール 推進事業	地域と学校との協働により、地域の特色を活かした体験活動等の教育実践を行う。	通年	市内4小学校 と地域住民
放課後子ども 教室推進事業	放課後、小学校の余裕教室を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動等に取り組む。	6月～2月	登録児童 関係団体 ボランティア
防災キャンプ	地域と学校との協働により、子どもたちに防災に関する知識と実践力を養うことを目的とした事業。	通年	児童
「はらこ飯」に 関する学習	岩沼で昔から親しまれてきた「はらこ飯」の作り方や歴史を学び、郷土と伝統文化について理解を深める。	10月	児童 生徒
松尾芭蕉「奥の細道」 いわぬま二木の松 俳句大会	岩沼の歴史と文化・観光地を題材とした俳句づくりを通して、表現の面白さを学び、芭蕉の心にふれる。	1月～2月	小学5・6年生 中学生
市史資料活用事業	市史編纂などにより、これまで長年に渡って収集してきた歴史史料を整理し公開を進めるとともに、市史及び史料の活用を行う。	通年	市民

2. 文化財保護事業

1 文化財の保護と活用

事業名	目的及び内容	実施時期
ふるさと展示室	市民図書館内に併設された「ふるさと展示室」において、歴史資料・民具等の展示を行い、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	通年
文化財企画展		年3～4回
埋蔵文化財の発掘	開発等に伴う遺跡の発掘調査等を行う。	通年
文化財めぐり	市内外の文化財を広く市民に紹介し、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	11月
文化財標柱の設置	埋蔵文化財等の周知とその保存を図る。	随時
文化財パトロール	市内の文化財の状況を常時把握し、文化財保護に万全を期する。	通年
文化財出前講座	小・中学校などの学習内容に即した希望するテーマで、市内の文化財や収蔵資料を用いて解説し、郷土愛の育成を図る。	随時



竹駒神社唐門（県指定）



ふるさと展示室



竹駒神社境内三社（市指定）
【愛宕神社・八幡神社・総社宮】



武隈の松〔二木の松〕
（国及び市指定）



原遺跡
大型の掘立柱建物跡（北西から）

2 指定文化財一覧

種 別		名 称 (所在地)	写 真	内 容	指 定 年月日	
国 指 定	記 念 物 名 勝	「おくのほそ道 の風景地」 武隈の松 (二木二丁目)		俳聖・松尾芭蕉が記した紀 行文学である『おくのほそ 道』に登場し、「桜より松 は二木を 三月越し」の句 を詠んだことで広く知ら れる。	平成26年 3月18日	
県 指 定	記 念 物	かめ塚古墳 (字亀塚)		水田内に位置する前方後 円墳。発掘調査の結果、前 方部、後円部とも後世に削 平されていることが明らか となり、本来は全長約5 0mの古墳であったと推 定されている。	昭和25年 9月25日	
	有 形 文 化 財	竹駒神社唐門 (稲荷町)		唐門としては、県下最大級 の建造物で、天保13年 (1842)の建築である。	平成31年 2月15日	
市 指 定	有 形 文 化 財	米づくりの額 藍づくりの額 (下野郷字上中 筋愛宕神社)		仙台の画家菅井梅関の養 子田龍の筆によるもので、 明治20年頃の作と推定 されている。2枚の額と も、1枚の中に1年を通し た作業工程を描き込んで いる。	昭和48年 3月27日	
		竹駒神社楼門 【隨身門】 (稲荷町)		彫刻・意匠等に優れた重厚 な二階門で、文化9年 (1812)の建築である。	平成2年 5月11日	
		竹駒神社境内三社 【愛宕神社】 【八幡神社】 【総社宮】 (稲荷町)		3社はいずれも一間社流 造で、その建築様式から、 江戸時代の特徴が見られ る。(愛宕神社：江戸前期、 八幡神社：江戸中期、総社 宮：江戸後期)	令和2年 2月13日	
	文 化 財	無 形 民 俗	竹駒奴		奴道中としては全国でも 数少なく芸術的にも意義 がある。竹駒奴のくり出し は、初午大祭期間中の日曜 日となっている。	昭和44年 5月29日
	記 念 物	天 然 記 念 物	二木の松 【武隈の松】 (二木二丁目)		みちのくの歌枕の中でも その詠歌の多いことでは 屈指の名木である。	昭和44年 5月29日
国 登 録	有 形 文 化 財	建造物 竹駒神社 馬事博物館		昭和13年(1938)開館。 和と洋の意匠が調和する 均整のとれた外観が近代 建築遺産として高く評価 されている。	令和3年 10月14日	

3. 社会体育事業

1 社会体育振興事業

行事名	期日又は期間	対象者	共催等
第35回 全国高校生銃剣道大会	7月22日(土)	高校生	岩沼市 (公社)全日本銃剣道 連盟
2023 岩沼市長杯 総合スポーツ大会	各競技大会 (9月～11月)	市民	岩沼市 NPO法人岩沼市体 育協会 岩沼市スポーツ少年 団本部外
2023 いわぬまスポーツ フェスティバル	12月開催予定	誰でも	岩沼市 岩沼市体育施設指定管理者 フクシ・オーエンス 共同事業体 NPO法人岩沼市体 育協会
岩沼市社会体育指導者 講習会 (講演会)	令和6年2月	スポーツ団体 の指導者等	NPO法人岩沼市体 育協会 岩沼市スポーツ少年 団本部

2 社会体育施設一覧

施設名	所在地	建築／開設 年月	敷地面積(m ²)		設備概要
			敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	
岩 沼 市 総合体育館 (ビッグアリーナ)	里の杜一丁目1番 1号 TEL 24-4831 FAX 24-4174	平成 5年7月	11,037.81		メインアリーナ (観覧席 1,323 席) バレーボール 6人制 3面 " 9人制 2面 テニス 3面 バドミントン 10面 卓 球 36台 サブアリーナ バレーボール 6人制 2面 " 9人制 1面 バスケットボール 1面 バドミントン 3面 卓 球 16台 ランニングコース (1周:210m) 卓球室、トレーニングルーム、会議室
			8,311.31		
岩 沼 市 民 体育センター	桜二丁目8番30号 TEL 22-2869	昭和 47年7月	5,938.60		バレーボール 6人制 2面 " 9人制 2面 バドミントン 6面 柔道室
			1,897.89		
岩 沼 市 陸上競技場	里の杜一丁目1番 42号 TEL 24-1242	平成 2年3月	28,023.48		トラック 1周:400m 8レーン 3,000m 障害走用水濠 収容人員 5,000人 メインスタンド 1,860人 芝生席 3,140人
			1,898.42		
多目的グラウンド	里の杜一丁目 115番地の1	平成 3年10月	13,503.00		ソフトボール場2面 サッカー場1面 トイレ棟
			44.98		
			84.96		
朝日山 公園	野球場	字荒井37番地	昭和 50年4月	9,744.00	野球場1面 観覧席あり
	テニスコート		昭和 52年9月	1,444.00	テニスコート2面 (Aコート・Bコート)
市民テニス コ ー ト	字荒井36番地	昭和 56年4月	2,178.48		テニスコート2面 (Cコート・Dコート) クラブハウス (トイレ、休憩室)
			43.20		

鍛冶スポーツ公園	南長谷字鍛冶 12番地の1	昭和56年8月	14,219.94	ソフトボール1面、グラウンド・ゴルフ トイレ棟
			7.92	
少年スポーツ公園	里の杜一丁目 175番地の3	昭和63年6月	3,839.00	遊具：コンビネーション遊具、 東屋、トイレ
			19.75	
矢野目運動広場	下野郷字館外 289番地	平成19年4月	1632.40	広場 トイレ
			21.26	



岩沼市総合体育館



岩沼市民体育センター



岩沼市陸上競技場



多目的グラウンド



朝日山公園野球場



朝日山公園テニスコート



市民テニスコート



鍛冶スポーツ公園



少年スポーツ公園

3 各施設利用状況

年度/施設	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド	体育センター	朝野球場	朝日山テニスコート	山日山テニスコート	市民グラウンド	阿武隈公園	鍛冶工場のスポーツ施設	二の倉	小学校体育館	中学校体育館	小学校	中学校	合計
H20年度	96,963	32,329	16,091	25,872	6,717	6,902	8,155	3,985	491	2,801	54,815	26,672	55,654	19,798	357,245	
H21年度	98,921	34,528	13,776	23,405	4,998	7,426	6,978	4,241	0	2,581	53,273	24,949	46,458	11,505	333,039	
H22年度	85,938	38,586	16,172	23,942	7,310	5,427	6,677	2,730	0	4,243	63,965	27,170	51,751	12,320	346,231	
H23年度	14,190	29,134			5,570	4,866	3,826	4,460	0		55,248	29,571	42,968	6,560	196,393	
H24年度	7,899	38,974		14,749	6,116	8,065	6,395	2,008	300		43,265	29,450	42,099	8,513	207,833	
H25年度	12,744	35,569		29,852	8,328	5,260	5,134	4,339	200		42,837	34,291	37,313	11,182	227,049	
H26年度	63,326	35,820		25,794	7,662	6,683	7,411	2,981	200		45,407	35,891	40,355	7,142	278,672	
H27年度	69,469	36,638		27,149	7,680	5,591	9,444	2,750	400		53,336	29,888	45,097	5,495	292,937	
H28年度	72,225	35,038	3,660	29,932	7,351	7,500	9,380	2,115	475		49,923	31,476	39,176	4,383	292,634	
H29年度	78,582	33,814	16,982	29,236	6,167	12,802	18,852		374		56,325	33,981	41,981	5,458	334,554	
H30年度	80,453	10,781	20,116	29,687	6,421	12,400	15,625		360		53,112	27,509	41,758	6,468	304,690	
R元年度	91,604	26,261	13,688	24,704	3,797	3,137	4,158		643		20,883	16,234	23,289	4,866	233,264	
R2年度	51,093	22,377	12,346	18,619	2,096	1,993	2,538		413		11,028	8,150	1,450	80	132,183	
R3年度	19,860	27,651	12,578	0	1,922	2,705	2,950		474		18,171	9,861	1,118	0	97,290	
R4年度	62,519	29,623	15,510	0	2,819	3,166	3,154		335		24,610	16,621	26,524	6,640	191,521	

※H30年度陸上競技場の利用人数は、改修工事のためH30年4月～6月までの人数となっています。

※R2年2月29日～R2年5月17日、R3年3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日の期間は、新型コロナウイルス感染症対策のため

全施設を閉鎖していました。

※福島県沖地震の影響で、R3年2月14日からR4年6月末まで総合体育館のメインアリーナ及びサブアリーナを閉鎖しました。

※体育センターはR3年度以降、新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用しています。

V 社会教育機関

1. 市民会館・中央公民館

郵便番号 989-2427
住所 岩沼市里の杜一丁目2番45号
電話 0223-23-3434
23-3450
FAX 0223-23-3451



1 運営方針

岩沼市民憲章が目指す“文化の香りも高く、健康で、活力に満ちた郷土づくり”の理想へ向け、豊かな情操と優れた創造力を養える場とする。

- (1) 地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現
- (2) 生涯にわたる生きがいのある学習活動の充実
- (3) 魅力ある地域文化活動の推進を重点に、市民の生涯学習を踏まえた施設として機能する運営を行うものとする。

2 市民会館の役割

魅力ある地域文化活動の推進を図る。

- (1) 地域住民（広域的意義を含む）の社会教育振興の必要と要求に応える場
- (2) 芸術文化の創造と人材の発掘の場
- (3) 伝統及び歴史的文化を正しく受け継ぐ場

3 中央公民館の役割

地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現、生涯にわたる生きがいのある学習活動の充実を図る。

- (1) 市民の生涯にわたる（ライフステージ）学習活動の場
- (2) 市民の社会生活向上の場
- (3) 市民の情報交換の場
- (4) 諸団体、機関との連絡と調整の場

4 市民会館イベント情報（令和5年度岩沼市民会館自主事業予定表）

月 日	催し物名	時間	入場料	席種
5月14日(日)	ケロポンズファミリーコンサート (大ホール) 主催事業	開演 14:00	一般 2,000 円 小学生以下 500 円 2歳未満ひざ上無料 当日 200 円増	指定
6月18日(日)	リバーサイドプラス in2023 (大ホール) 共催事業	開演 13:30	一般 500 円 小学生以下無料	自由
7月31日(月)	木山裕策と歌声カルテットの昭 和歌謡コンサート (大ホール) 共催事業	開演 14:00	一般 2,500 円 当日 3,000 円 会員 2,200 円 未就学児無料	自由
8月26日(日)	仙台フィルハーモニー管弦楽団 「マイタウンコンサート in 岩沼」 (大ホール) 共催事業	開演 15:00	一般 3,000 円 学生 1,500 円 会員 500 円引	自由
9月9日(土)	岸谷香 KAORI PARADISE 2023 (大ホール) 主催事業	開演 16:30	一般 5,000 円 会員 4,500 円 当日 500 円増	指定
9月25日(月)	いわぬま寄席 (大ホール) 共催事業	開演 18:00	一般 3,000 円 高校生以下 2,000 円 会員 500 円引 当日 500 円増	指定
10月14日(土)	陸上自衛隊第6音楽隊 岩沼ふれあいコンサート (大ホール) 主催事業	開演 14:00	無料（往復はがきで申し 込み・抽選）	指定
10月28日(土) 29日(日)	いわぬま市民劇団ウィープ 第22回定期公演 (中ホール) 共催事業	全3回	一般 1,000 円/当日 1,300 円 高校生 500 円 中学生以下無料	自由
11月26日(日)	みんなで歌う第九の会第37回 演奏会 (大ホール) 共催事業	開演 15:00	一般 3,500 円（自由） 一般 4,000 円（指定）	自由 一部指 定
12月10日(日)	アンサンブルアザレア winter concert ～歌と映画の世界～ (大ホール) 共催事業	開演 14:00	一般 3,000 円 会員 2,500 円 高校生 1,500 円 中学生以下無料	自由
12月16日(土)	スギテツ with 浅野祥コンサート (大ホール) 主催事業	開演 14:00	一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円	指定
令和6年 1月27日(土)	漫才の DENDO (大ホール) 主催事業	開演 14:00	一般 3,000 円 会員 2,500 円 当日 500 円増	指定

5 令和5年度 中央公民館 主催教室

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
あみもの教室	6月～2月	9	15	毎月第1金曜日 10:00～12:00
わび・さび 茶道教室	6月～2月	8	15	毎月第2火曜日 10:00～12:00
のびのび体操教室	6月～2月	8	40	毎月第1水曜日 10:00～12:00
みんなで パン作り教室プラス	前期 6月～11月 後期 9月～3月	前期6 後期6	前期16 後期16	毎月第3火曜日 前期9:30～12:30 後期13:30～16:30
ふるさと歴史教室	6月～2月	7	80	毎月第4月曜日 10:00～12:00
人生設計の最終盤を 考えるマネー塾	7月～9月	3	20	毎月第1水曜日 9:30～11:30
演劇入門	6月～8月	9	20 ※申込期間延長して 再募集したが、最少 催行人数5名に満た ず中止	19:00～21:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
寿 大 学	6月～1月	7	50	毎月第3水曜日 10:00～11:30

6 令和5年度 中央公民館主催 玉浦教室

会場：玉浦コミュニティセンター

郵便番号 989-2429

住所 岩沼市恵み野二丁目3番地

電話 0223-35-7234

※平成29年4月30日、玉浦公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、玉浦コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和2年4月1日、施設運営を市職員による直営方式から指定管理者（玉浦まちづくり協議会）への委託方式に変更。教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員が出張して運営）を維持。

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
さわやか 「レク・ダンス」教室	6月～3月	12	30	毎月第2水曜日 13:30～15:30
花と緑のセラピー教室	6月～12月	7	20	毎月第4火曜日 10:00～12:00
手作り教室 何でもトライ	7月、8月 10月、12月	4	25	第3金曜日 10:00～12:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松風大学	6月～12月	6	40	毎月第2水曜日 10:00～12:00

7 令和5年度 中央公民館主催 西教室

会場：岩沼西コミュニティセンター

郵便番号

989-2455

住所

岩沼市北長谷字内田90-1

電話

0223-36-7667

※令和4年3月31日、西公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、岩沼西コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和4年4月1日、教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員としての併任辞令）を維持。

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
まったくはじめての 韓国語講座	6月～11月	12	12	毎月第1・3水曜日 13:00～14:30
陶芸教室	6月～11月	5	10	毎月第2水曜日 13:30～15:30
ビューティー スタイルアップ ウォーキング	6月～3月	10	10	毎月第1木曜日 10:00～11:00
ギター教室	6月～3月	17	20	毎月第2・4木曜日 10:00～12:00
ほっこり 消しゴムはんこ教室	6月～12月	7	8	毎月第4(5)木曜日 14:00～16:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松寿大学	6月～12月	6	40	毎月第3木曜日 10:00～11:30

8 市民会館・中央公民館利用状況

(1) 市民会館

年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開館日数	345		316		177		240		345	
利用	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大ホール	221	51,532	211	47,227	36	4,917	118	17,058	226	45,215
中ホール	439	23,991	347	18,425	170	3,752	226	6,604	344	13,643
リハーサル室	386	4,943	315	4,278	121	784	230	2,167	311	3,635
合計	1,046	80,466	873	69,930	327	9,453	574	25,829	881	62,493
一日平均利用者数	233		221		53		108		181	

(2) 中央公民館

年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
開館日数	345		316		281		288		345		
利用	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
会議室	第2	232	3,255	164	2,317	124	936	117	846	134	1,427
	第3	346	2,367	251	2,151	123	931	155	861	221	2,035
	第4	163	1,480	105	1,401	0	0	47	265	76	935
	第5	190	3,622	154	3,571	120	1,327	114	1,415	149	2,535
視聴覚室	288	5,764	246	5,740	188	2,654	181	2,418	255	4,754	
調理実習室	45	760	36	646	6	73	21	116	18	341	
和室	244	2,449	202	1,915	152	1,128	192	1,398	197	1,655	
展示ホール	3	-	3	-	0	-	2	-	2	-	
全館(複室)利用	37	大ホールを含む	46	大ホールを含む	2	大ホールを含む	36	大ホールを含む	31	大ホールを含む	
合計	1,511	19,697	1,161	17,741	713	7,049	829	7,319	1,052	13,682	
一日平均利用者数	57		56		25		25		40		

2. 市民図書館

郵便番号 989-2448
住所 岩沼市二木二丁目8番1号
電話 0223-24-3131
FAX 0223-25-1713



1 運営基本方針

岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例第2条（設置）に基づき、図書、文化財等の必要な資料の収集、整理、保存をとおして市民の教養の向上及び生涯学習活動に資するよう、以下の基本方針により本館を運営する。

- (1) 市民の生涯学習を支援する図書館をめざす。
- (2) 市民のコミュニケーション空間としての図書館をめざす。
- (3) 地域情報の集積・提供の拠点としての図書館をめざす。
- (4) きめの細かい図書館サービスで地域に無くてはならない図書館をめざす。
- (5) 常に運営状況の点検・評価を行い、前進する図書館をめざす。

2 主な施策

- (1) 一般書、児童書、視聴覚資料等、図書館資料を計画的に整備する。
- (2) 利用者の利便性の向上のため、分類、排架、目録等書誌データを整備する。
- (3) ホームページや利用者開放端末からの検索機能を用いて蔵書公開を容易にする。
- (4) インターネット予約、読書案内、レファレンスサービス等を充実させ、図書館サービスの質の向上に努める。
- (5) 市広報誌や図書館だよりを活用して広報を充実させる。
- (6) ボランティア団体及び図書館主催の「読み聞かせ おはなし会」を充実させる。
- (7) 東西分館の図書資料整備と利用促進を図る。
- (8) 市内小・中学校及び高等学校との関係を深め、学校図書館との連携を図る。
- (9) ふるさと展示室、セミナールーム・まちかどギャラリーの利用促進を図る。

3 令和5年度事業計画

事業名		実施内容	備考
図書館蔵書整備		新刊図書資料の購入等による蔵書の充実	図書、視聴覚資料等 4,870点購入予定
図書館主催行事等			
読書週間の	◎ 絵本の展示	英語の絵本作品の展示	4月27日(木)～5月14日(日)
	◎ 特別おはなし会	通常のおはなし会の時間・内容を拡大、充実させたおはなし会	4月27日(木)
◎ 手づくり絵本教室		オリジナル絵本の製作	8月2日(水)～8月4日(金)
◎ DVD上映会	大人向けDVD上映会		11月18日(土)
	子ども向けDVD上映会		2月4日(日)
◎ 第12回文化講演会		内容 家紋に関する話と作成のワークショップ 講師 グラフィックデザイナー 厚綿 広至 氏	12月3日(日)
◎ 初心者向け読み聞かせ研修会		検討中	11月～2月
◎ 読み聞かせボランティアステップアップ講座		講演「絵本と私」 講師 絵本作家 石井 聖岳 氏	9月22日(金) ※読み聞かせボランティアネットワーク岩沼と共催
◎ ナイトライブラリー		夜間の図書館内を案内、おはなし会の開催	11月4日(土)
◎ まちかどギャラリー周知事業		・大友青陵書展(5月)・水彩画展(7月)・文化財パネル展(8月)・第10回まちかど絵画展(9月)・木版画展(10月)・児童生徒科学展(10月)・志賀一男展(11月)・桃源会書展(11月)・二木の松俳句展(2月)	4月～3月
◎ 読書週間行事	手づくり絵本教室の作品展示		10月27日(金)～11月9日(木)
	ミニリサイクル市(除籍後の本・雑誌)		10月26日(木)～11月5日(日)
◎おたのしみ福袋貸出		福袋として絵本・児童書のセット貸出	1月5日(金)～なくなり次第 未就学児・低・中・高学年各10袋
◎おはなし会	市民図書館主催のおはなし会(第2・第4・第5木曜日)		職員及びボランティア団体の協力により実施
	よみきかせサークルによるおはなし会 ・岩沼よみきかせの会(第2・第4土曜日) ・おひざにだっこダンボの会(第1・第3木曜日) ・語りっこいわぬま(第2日曜日)		月1～2回 各サークル主催で実施
◎ 図書資料展示		テーマ別本の展示 時宜にかなったテーマを設定し、関連した一般書・児童書を展示 郷土資料の展示 岩沼に関する資料の展示	通 年
○ 就労体験 職場体験(中学生)・インターンシップ(高校生・障がい者等)実習生の受入れ ※申込のある場合			
○ 施設見学 小学生の受入れ ※申込のある場合			
○ 広報活動 「利用の案内」:図書館等で配布 「ホームページ」:蔵書検索・図書館行事案内等提供 「としょかんだより」・「あいあい通信」:毎月発行			
○ その他 「ブックリスト」:随時発行			

3. 社会教育施設等一覧

施設名	所在地	建築/開設 年月	敷地面積 (㎡)	建物	
				構造	面積 (㎡)
市民会館	岩沼市里の杜一丁目 2番45号 TEL 23-3434 TEL 23-3450 FAX 23-3451	昭和 61年5月	31,355.46	一部鉄骨鉄筋 地下1階 地上2階 塔屋2階建	6,048.11
中央公民館					
市民図書館	岩沼市二木二丁目 8番1号 TEL 24-3131 FAX 25-1713	平成 23年5月	3,633.85	鉄骨造 2階建	3,018.60
市民図書館 東分館 (玉浦コミュニティ センター内)	岩沼市恵み野二丁目 3番地 TEL 35-7234	平成 29年5月	—		—
市民図書館 西分館 (岩沼西コミュニテ ィセンター内)	岩沼市北長谷字内田 90番地の1 TEL 36-7667	令和 4年4月	—		—
青少年室 (総合福祉センター内)	岩沼市里の杜三丁目 4番15号 TEL 22-3333	昭和 55年4月	—		—

VI 各種委員会委員等名簿

1. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

(任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日)

学校名	学校医			歯科校医	学校薬剤師
	内科	耳鼻咽喉科	眼科		
岩沼小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	清水 達朗 清水 功之	関谷 政一
岩沼西小学校	森川貴美子	丹野 哲子	板橋 隆三	小島 一夫 鳥羽 透	関谷 宗英
玉浦小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 俊隆	東田 大輔	遠藤 要子
岩沼南小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	南館 公雄	高梨 宏行
岩沼中学校	安田 直行	丹野 哲子	板橋 隆三	高藤 康夫	関谷 政一
岩沼北中学校	大和田直樹	丹野 哲子	板橋 隆三	大内 宏文	熊谷 朋久
玉浦中学校	大和田直樹	丹野 哲子	板橋 俊隆	荻原 裕志	遠藤 要子
岩沼西中学校	有田 大作	丹野 哲子	板橋 隆三	上中 恒徳	関谷 宗英

2. 障害児就学指導審議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
板野 正敬	学校医
宮本 利浩	岩中校長
只野 悟	名取が丘校副校長
安達 正陽	西中教頭
小野寺奈緒子	岩小教諭
百足 央子	玉小教諭
小向由美子	西小教諭
村形 舞香	南小教諭
柴田久美子	岩中教諭
八木沼麻里	玉中教諭
古川 明子	北中教諭

3. 通学路等安全対策推進会議委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
山田 雅信	岩沼警察署交通課
大金 知子	仙台土木事務所
佐藤 和也	行政職員
橋本 朋子	行政職員
加藤かほる	玉小校長
安達 正陽	西中教頭
三浦 宗隆	PTA 連合会

4. いじめ問題対策連絡協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
佐藤 淳	岩沼警察署生活安全課長
伊藤 大介	仙台法務局人権擁護部
佐々木聖仁	県中央児童相談所
板野 正敬	学校保健会長
佐藤 隆信	青少年室運営協議会長
鈴木啓二郎	人権擁護委員代表
加藤かほる	玉小校長
佐藤 秋生	玉中校長
三浦 宗隆	南小 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
野口 太郎	行政職員

5. いじめ問題対策推進委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
加藤かほる	玉小校長
佐藤 秋生	玉中校長
船迫 栄皓	岩小教諭
武田 知也	玉小主幹教諭
菊池 将史	西小教諭
隈川 貴文	南小教諭
小川ゆかり	岩中教諭
晴佐久 晶	玉中主幹教諭
八木沼寛人	北中教諭
玉手 裕生	西中教諭
山田 桂	スクールソーシャルワーカー

6. 特別支援連携協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日)

氏名	備考
板野 正敬	学校医
只野 悟	名取支援学校名取が丘校副校長
茂木 悟	名取高等学校校長
菅原 紀子	岩沼高等学園校長
宮本 利浩	岩中校長
秀城 智枝	J's 保育園園長
大塚加代子	岩沼南こぼと幼稚園主幹教諭
川井亜希子	名取支援学校名取が丘校教諭
柴田久美子	岩中教諭
村形 舞香	南小教諭
菅原亜由美	行政職員
板橋 晋也	行政職員
野口 太郎	行政職員

7. 学校給食運営協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
宮本 利浩	岩中校長
柴田 新二	南小校長
菊池 晃子	岩小校長
加茂 博行	北中校長
鈴木真奈美	西小 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
小川 拓	玉中 PTA 会長
宇津井陽子	玉小栄養士
阿相美智子	西中栄養士
熊谷 真紀	西小養護教諭
晴佐久 晶	玉中主幹教諭

8. 社会教育委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
齊 隆	教育指導専門監
宮本 利浩	岩中校長
佐藤 玲子	家庭教育
宇津井良子	社会教育
浅井みな子	社会教育

9. 文化財保護委員

(任期 令和5年4月1日～令和8年3月31日)

氏名	備考
千葉 宗久	考古学
吉岡 一男	郷土史
新妻 茂雄	郷土史
菅井 幸徳	建築
徳竹亜紀子	考古史

10. 市民図書館運営協議会委員

(任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

氏名	備考
山内 紀子	教育指導専門監
新妻 茂雄	文化財友の会
高橋 紀子	岩小司書教諭
保科 桂子	岩沼読み聞かせネットワーク
伊藤 陽子	竹駒保育園園長
三浦 茂子	家庭教育支援チーム 「ほっぺの会」
安達 真里	おはなし広場 ぐうちよきぱあ
森 俊久	森久設備社長

11. 青少年室運営協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
佐藤 隆信	社会福祉協議会
茂木 悟	名取高等学校校長
佐藤 淳	岩沼警察署生活安全課長
柴田 新二	南小校長
佐藤 秋生	玉中校長
佐藤 育子	民生委員児童委員協議会 副会長
星 幸枝	民生委員児童委員協議会主 任児童員
鈴木 早苗	少年補導員協会少年補導員
佐藤 剛太	西中 PTA 会長 PTA 連合会長
大元 利之	行政職員

12. 青少年室青少年相談員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
氏家 隆文	少年補導員連絡会
大内たき子	少年補導員連絡会
森 武雄	民生委員児童委員協議会
武田 智子	社会福祉協議会
市村 聡	岩沼警察署
八巻 大樹	岩小教諭
浅川 祐輔	玉小教諭
菊池 将史	西小教諭
隈川 貴文	南小教諭
小川ゆかり	岩中教諭

氏名	備考
晴佐久 晶	玉中主幹教諭
八木沼寛人	北中教諭
玉手 裕生	西中教諭
本多 和宏	名取高教諭
鎌田 潤一	岩小 PTA 会長
三浦 貴之	玉小 PTA 会長
小川 拓	玉中 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
鬼澤 聡	北中 PTA 会長
鈴木真奈美	西中 PTA 会長

13. スポーツ推進審議会委員

(任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

氏名	備考
菅原 紀子	岩沼高等学園校長
松岡 治	スポーツ少年団本部長
宮本 利浩	岩中校長
椎名 勝彦	前社会教育指導監
長田 勝吉	行政職員
菅原 良司	体育協会副理事長
三浦 説子	第2次岩沼市健康づくり 市民計画推進委員会
三上 光弘	体育協会監事

14. スポーツ推進委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏名	備考
菅原 良司	硬式テニス、スキー
酒井 信幸	剣道
折原美根子	バレーボール
星 幸枝	バレーボール、卓球
小野 一男	陸上競技
菊地 康之	ソフトテニス
菅井 清子	バドミントン
長田 育子	バレーボール
小野 孝	ソフトボール、ミニバスケットボール
工藤 悦子	バレーボール
小野 健一	バレーボール

教 育 要 覧 岩 沼

発 行 令和5年10月
編集発行 岩沼市教育委員会
岩沼市桜一丁目6番20号
電話 0223-23-0728 (学校教育課)
0223-23-0844 (生涯学習課)